

土木工事成績採点表及び考査項目別運用表

令和6年度

呉市



工事成績採点表

件名															請負代金額										円																													
受注者															契約工期										～										工事の完成期限										完成年月日									
考査項目	細別	一般監督員					主任監督員等					検査員(中間1)					検査員(中間2)					検査員(完成)																																
		氏名					氏名					氏名					氏名					氏名																																
		a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e																				
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																																																
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																																																
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0																				
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15.0																																									
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15.0																																									
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																																																
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0																				
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0																				
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0																					
4. 工事特性	I. 施工条件等 ※2						+20.0	～	0																																													
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3	+7.0	～	0																																																		
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※4						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0																																											
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		点					点					点					点					点																																
評定点(65点±加減点合計) ※1		① 点					② 点					③ 点					③ 点					④ 点																																
7. 評定点計		点					・中間検査があった場合 ① 点×0.4+② 点×0.2+③ 点×0.2+④ 点×0.2=					※但し, ③(中間)が2回の場合は平均値					点																																					
							・中間検査が無かった場合 ① 点×0.4+② 点×0.2+④ 点×0.4=										点																																					
8. 法令遵守等 ※7							点										点																																					
9. 評定点合計 ※8		○					7. 評定点計(点) - 8. 法令遵守等(点) =					点																																										
所見 ※5		(一般監督員) 別紙のとおり					(主任監督員等) 別紙のとおり					(検査員) 別紙のとおり																																										

※1 各表定点(①～④)は小数点第1位までとする。
 ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境、社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価に当たっては一般監督員からの報告を受けて、主任監督員等が評価するものとする。
 ※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。
 ※4 社会性等の評価では地域貢献の観点から、加減点評価のみとする。
 ※5 所見は、加減点した内容について必ず記載する。
 ※6 各考査項目ごとの採点は、一般監督員は別紙-1、主任監督員等は別紙-2、検査員は別紙-3によるものとし、完成検査の場合は検査員の評定に先立ち、一般監督員・主任監督員等が記入する。
 ※7 法令遵守等の評価は、主任監督員等が行い、減点評価のみとする。
 ※8 評定点合計は四捨五入して整数とする。

工事に関する所見

令和 年度 第 号

一般監督員	主任監督員等	検査員
① 施工体制(施工体制一般・配置技術者)	① 施工状況(工程管理・安全対策)	① 施工状況(施工管理)
② 施工状況(施工管理・工程管理・安全対策・対外関係)	② 社会性等(地域貢献)	② 出来形及び出来ばえ(出来形・品質・出来ばえ)
③ 出来形及び出来ばえ(出来形・品質)・その他(創意工夫)	③ その他(工事特性・法令遵守等)	③ その他

一般監督員用

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e	
1. 施工体制	I 施工体制一般	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である	
		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>「施工プロセス」チェックリストのうち，施工体制一般について指示事項が無い。</p> <p>施工計画書を，工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出している。</p> <p>施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。</p> <p>作業分担の範囲を，施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。</p> <p>元請が下請の作業成果を検査している。</p> <p>緊急指示，災害，事故等が発生した場合の対応が速やかである。</p> <p>現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。</p> <p>工場製作期間における技術者を適切に配置している。</p> <p>機械設備，電気設備等について，製作工場における社内検査体制（規格値の設定や確認方法等）を整えている。</p> <p>品質証明員が関係書類，出来形・品質等の確認を工事全般にわたって実施して，品質証明に係る体制が有効に機能している。</p> <p>電気設備等について，設備更新時の新旧設備の切り替え作業における予期できない事象等に対応できる体制を整えている。</p> <p>その他（理由： _____）</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して，監督員が文書による改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して，監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・b</p> <p>評価値が80%未満・・・・・・・・c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち，対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (12)</p> <p>④ なお，削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考查項目	細 別	a	b	c	d	e	
1. 施工体制	II 配置技術者（現場代理人等）	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である	
		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>【全体を評価する項目】</p> <p>「施工プロセス」チェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。</p> <p>作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。</p> <p>【現場代理人を評価する項目】</p> <p>現場代理人が、工事全体を把握している。</p> <p>設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要な対応を行っている。</p> <p>監督員への報告・連絡を適時及び的確に行っている。</p> <p>【監理（主任）技術者を評価する項目】</p> <p>※特例監理技術者の指導により、監理技術者補佐が適正に実施した場合も評価するものとする。</p> <p>共通仕様書及び諸基準に基づき、工事書類を適切に作成し提出又は提示している。</p> <p>契約書・設計図書・適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。</p> <p>施工上の課題となる条件（作業環境、気象、地質等）への対応を図っている。</p> <p>下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。</p> <p>監理（主任）技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。</p> <p>その他（理由： _____）</p>			<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・b</p> <p>評価値が80%未満・・・・・・・・・・c</p>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (11)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>		

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e	
2. 施工状況	I 施工管理	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である	
		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>「施工プロセス」チェックリストのうち，施工管理について指示事項が無い。</p> <p>施工計画書が，設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。</p> <p>現場条件の変化に対して，適切に対応している。</p> <p>工事材料を品質に影響が無いよう保管している。</p> <p>日常の出来形管理を，設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</p> <p>日常の品質管理を，設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。</p> <p>現場内の整理整頓を日常的に行っている。</p> <p>指定材料の品質証明書及び写真等を保管している。</p> <p>工事打合せ簿を，過不足無く整理している。</p> <p>建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。</p> <p>工事全般において，低騒音型・低振動型・排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。</p> <p>電気設備等について，設備更新時の新旧設備の切り替え作業（作業手順や確認方法等）を適切に行っている。</p> <p>その他（理由： _____）</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して，監督員が文書による改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して，監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・b</p> <p>評価値が80%未満・・・・・・・・c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち，対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (13)</p> <p>④ なお，削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e		
2. 施工状況	II 工程管理	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である		
		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>「施工プロセス」チェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。</p> <p>工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した計画工程表を作成している。</p> <p>実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。</p> <p>現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。</p> <p>時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。</p> <p>工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。</p> <p>適切な工程管理を行い、工程の遅れがない。</p> <p>休日の確保を行っている。</p> <p>計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。</p> <p>その他（理由： _____）</p>				<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・b</p> <p>評価値が80%未満・・・・・・・・・・c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (10)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>				

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e		
2. 施工状況	III 安全対策	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である		
		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>「施工プロセス」チェックリストのうち，安全対策について指示事項が無い。</p> <p>災害防止協議会等 を1回/月以上行っている。</p> <p>安全教育及び安全訓練等 を半日/月以上実施している。</p> <p>新規入場者教育の内容に，当該工事の現場特性を反映している。</p> <p>工事期間を通じて，労働災害及び公衆災害が発生しなかった。</p> <p>過積載防止に取り組んでいる。</p> <p>仮設工の点検及び管理を，チェックリスト等を用いて実施している。</p> <p>保安施設の設置及び管理を，各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。</p> <p>地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>			<p><input type="checkbox"/> 安全対策に関して，監督員が文書による改善指示を行った。</p>		<p><input type="checkbox"/> 安全対策に関して，監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・b</p> <p>評価値が80%未満・・・・・・c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち，対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (10)</p> <p>④ なお，削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>				

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	IV 対外関係	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である
		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>「施工プロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。</p> <p>関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。</p> <p>地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。</p> <p>工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。</p> <p>第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。</p> <p>関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。</p> <p>その他（理由： _____)</p>			<p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・b</p> <p>評価値が80%未満・・・・・・・・c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(7)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考查項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I 出来形 土木工事等	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。 なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で出来形管理を行うものである。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> </div>					

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である
I 出来形		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表より確認できる。</p> <p>設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。</p> <p>施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。</p> <p>設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理している。</p> <p>不可視部分の出来形を写真撮影している。</p> <p>塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。</p> <p>溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。</p> <p>社内の管理基準に基づき管理している。</p> <p>設計図書に定められている予備品に不足が無い。</p> <p>分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。</p> <p>その他（理由： _____）</p>			<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が80%以上・・・・・・・・・・a</p> <p>評価値が60%以上80%未満・・・・b</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・・・c</p>		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (11)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事・通信設備工事 ・受変電設備工事	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である	
		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。</p> <p>機器等の測定（試験）結果が、その都度出来形管理図及び出来形管理表に記録され、適切に管理している。</p> <p>不可視部分の出来形を写真撮影している。</p> <p>設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理している。</p> <p>設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内である。</p> <p>設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通り施工している。</p> <p>配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。</p> <p>測定機器のキャリブレーションを、定期的を実施している。</p> <p>行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</p> <p>配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>社内の管理基準に基づき管理している。</p> <p>設計図書に定められている予備品等に不足が無い。</p> <p>高温部等の危険箇所への二重表示、二重防護など運用における不可抗力を想定した安全対策がなされている。</p> <p>その他（理由： _____）</p>				<p><input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。</p>
I 出来形		<p>●判断基準</p> <p>評価値が80%以上・・・・・・・・・・a</p> <p>評価値が60%以上80%未満・・・・b</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・・・c</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (14)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考查項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ II 品質 土木工事等	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。
※ ばらつきの判断は別紙-4参照。					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 品質の評価は、工事全般を通じて評価するものとする。</p> <p>② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。</p> <p>③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。 なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で品質管理を行うものである。</p> <p>④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> </div>					

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>材料、部品の品質照合の書類（現物照合）の内容が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>設備の機能及び性能を、承諾図書の通り確保している。</p> <p>設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。</p> <p>機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。</p> <p>溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。</p> <p>塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。</p> <p>操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承諾図書のとおりに配置し、正常に作動することが確認できる。</p> <p>操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおりに機能している。</p> <p>小配管、電気配線・配管が、承諾図書のとおりに敷設している。</p> <p>設備の取扱説明書を適切に作成している。</p> <p>完成図書（取扱説明書）に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。</p> <p>機器の配置について、点検しやすくしている。</p> <p>設備の構造や機器の配置について、部品等の交換作業が容易にできる。</p> <p>二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。</p> <p>バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。</p> <p>計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。</p> <p>回転部や高音部等の危険個所に表示又は防護をしている。</p> <p>構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>その他（理由：)</p>			<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が80%以上・・・・・・・・・・a</p> <p>評価値が60%以上80%未満・・・・b</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・・・c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (20)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	

考 査 項 目 別 運 用 表

(一般監督員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事・通信設備工事 ・受変電設備工事	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である	<input type="checkbox"/> 不適切である
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。</p> <p>材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめている。</p> <p>操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、正常に作動することが確認できる。</p> <p>ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。</p> <p>設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足していることが確認できるとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p>設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。</p> <p>設備全体についての取扱説明書を適切に作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）している。</p> <p>完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。</p> <p>設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできる。</p> <p>障害、災害発生を想定した代替機能、迂回などのフェールセーフ機能を現地試験等で確認している。</p> <p>設備の耐震設計について、受注者自らが確認、精査したことが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>			<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が80%以上・・・・・・・・・・a</p> <p>評価値が60%以上80%未満・・・・b</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・・・c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (15)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	

考査項目別運用表

考査項目	細 別	工 夫 事 項
5. 創意工夫	I 創意工夫	<p>【施工】</p> <p><input type="checkbox"/> 施工に伴う器具，工具，装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 土工，地盤改良，橋梁架設，舗装，コンクリート打設等の施工に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止，配管のつなぎ等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 照明などの視界の確保に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 仮排水，仮道路，迂回路等の計画的な施工に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 運搬車両，施工機械等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 支保工，型枠工，足場工，仮栈橋，覆工板，山留め等の仮設工に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 盛土の締固度，杭の施工高さ等の管理に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書の作成，写真の管理等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測，集計，管理図等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理ソフト，土量管理システム等の活用に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> ICT活用工事加点として起工測量から電子納品までの何れかの段階でICTを活用した工事（電子納品のみは除く）。</p> <p><input type="checkbox"/> ICT活用工事加点として起工測量から電子納品までの全ての段階でICTを活用した工事。※本項目は2点の加点とする</p> <p>※ICT活用による加点は最大2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 特殊な工法や材料を用いた工事。</p> <p><input type="checkbox"/> 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。</p> <p>【新技術活用】</p> <p>「新技術活用」においては，以下の5項目により，複数の技術の評価を可能とするが，最大3点の加点とする。 ただし，加点対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし，発注者が指定し活用した場合は加点措置を行わないものとする。</p> <p><input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し，活用の効果が相当程度確認できた。※本項目は3点の加点とする</p> <p><input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し，活用の効果が一定程度確認できた。※本項目は2点の加点とする</p> <p><input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し，活用の効果が従来技術と同程度である。※本項目は1点の加点とする</p> <p><input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち事後評価実施済み技術（「有用とされる技術」を除く）を活用し，活用の効果が相当程度確認できた。※本項目は2点の加点とする</p> <p><input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち事後評価実施済み技術（「有用とされる技術」を除く）を活用し，活用の効果が一定程度確認できた。※本項目は1点の加点とする</p> <p>※ここで「有用とされる技術」とは，「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で定める「活用促進技術」，「推奨技術」，「準推奨技術」，「評価促進技術」等をいう。</p>

考 査 項 目 別 運 用 表

考査項目	細 別	工 夫 事 項	
		<p>【品質】</p> <p><input type="checkbox"/> 土工，設備，電気の品質向上に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの材料，打設，養生に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋，PCケーブル，コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 配筋，溶接作業等に関する工夫。</p> <p>【安全衛生】</p> <p><input type="checkbox"/> 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。※本項目は2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。（落下物，墜落・転落，挟まれ，看板，立入禁止柵，手摺り，足場等）</p> <p><input type="checkbox"/> 安全教育，技術向上講習会，安全パトロール等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場事務所，労務者宿舍等の空間及び設備等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 厳しい作業環境の改善に関する工夫。</p> <p><input type="checkbox"/> 環境保全に関する工夫。</p> <p>【働き方改革】</p> <p>「働き方改革」では，当該工事において，他の模範となるような取組を，以下の項目により，複数評価を可能とするが，最大2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 週休2日（4週8休以上）の確保に向けた企業の取り組みが図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 若手や女性技術者の登用など，担い手確保に向けた取り組みが図られている。</p> <p>【その他】</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由： _____ ）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由： _____ ）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由： _____ ）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由： _____ ）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由： _____ ）</p>	
	<p>記述評価 (該当した評価内容を詳細記述)</p>	<p>加 点 点 評 点 : 0 点</p>	<p>【創意工夫の詳細評価】 工夫の内容及び具体的内容を記載</p>

※1 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2 評価は各項目において1つ該当すれば1，2，3点で評価し，該当する数と重みを勘案して，最大7点の加点評価とする。

※3 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが，内容によって委はそれ以上加点を与えても良い。

※4 上記の考査項目の他に評価に値する受注者の工夫があれば，その他に具体的内容を記載して加点する。なお，総括監督員等が評価する「4. 工事特性」との二重評価は行わない。

主任監督員用

考 査 項 目 別 運 用 表

(主任監督員等用)

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II 工程管理	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p>地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p>工程管理を適切に行ったことにより、夜間工事の回避等を行い、工事による地域への影響を軽減させた。</p> <p>工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。</p> <p>現場閉所による週休2日（4週8休以上）に取り組んだ。</p> <p>災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p>工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を積極的に行い、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p>設備更新等の工事において、機能停止期間の短縮など、工事による利用者への影響を軽減させた。</p> <p>その他（理由：)</p> <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e 評価を行う。</p>				

考 査 項 目 別 運 用 表

(主任監督員等用)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ 安全対策	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。</p> <p>安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。</p> <p>安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。</p> <p>災害防止協議会等での活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>安全対策に係る取り組みが地域から評価された。</p> <p>その他（理由：)</p> <p>●判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e評価を行う。</p>				

考査項目別運用表

(主任監督員等用)

考査項目	細 別	対 応 事 項	【 事 例 】 具 体 的 な 施 工 条 件 等 へ の 対 応 事 項
4. 工事特性	I 施工条件等への対応	<p>I 構造物の特殊性への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 1.対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 <input type="checkbox"/> 2.対象構造物の形状が複雑であること等から、施工条件が特に変化する工事 <input type="checkbox"/> 3.その他(理由: <p>※上記の対応事項に1つ以上該当すれば4点の加点とする。</p> <p>II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 4.地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 5.周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 <input type="checkbox"/> 6.周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 <input type="checkbox"/> 7.現道上での交通規制に大きく影響する工事 <input type="checkbox"/> 8.事故や災害発生直後の緊急的な対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 9.施工箇所が広範囲にわたる工事 <input type="checkbox"/> 10.その他(理由: <p>※上記の対応事項に1つ以上該当すれば6点の加点とする。</p> <p>III 厳しい自然・地盤条件への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 11.特殊な地盤条件への対応が必要な工事 <input type="checkbox"/> 12.雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 <input type="checkbox"/> 13.被災箇所や急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 <input type="checkbox"/> 14.動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 <input type="checkbox"/> 15.維持修繕工事等規模に比して地元調整等の手間がかかる工事 <input type="checkbox"/> 16.その他(理由: <p>※上記の対応事項に1つ以上該当すれば4点の加点とする。</p> <p>IV 長期工事における安全確保への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 17. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く) ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 <input type="checkbox"/> 18.その他(理由: <p>※上記の対応事項に1つ以上該当すれば6点の加点とする。</p>	<p>(1. について)</p> <p>切土の土工量：20万m3以上、盛土の土工量：15万m3以上、護岸・築堤の平均高さ：10m以上、トンネル(ｼｰﾄﾞ)の直径：8,000 mm以上、ダム用水門の設計水深：25m以上、樋門又は樋管の内空断面積：15m2以上、揚排水機場の吐出管径：2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長：25m以上、堰又は水門の最大径間数：3径間以上、堰又は水門の扉体面積：50㎡/門以上、トンネル(開削工法)の開削深さ：20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積：100㎡以上、トンネル(沈理工法)の内空平均面積：300㎡以上、海岸堤防・護岸・突堤又は離岸堤の水深：10m以上、地滑り防止工：幅100m以上かつ地滑り防止工の幅100m以上、浚渫工の浚渫土量：100万m3以上、流路工の計画高水流量：500m3以上、砂防ダムの堤高：15m以上、ダムの堤高：150m以上、転流トンネルの流下能力：400㎡/s以上、橋梁下部工の高さ：30m以上、橋梁上部工の最大支間長：100m以上</p> <p>(2. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防工事等において、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 <p>(3. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。 <p>(4. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁等の工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 <p>(5. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策等の制約が多い工事。 ・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 <p>(6. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地での夜間工事。 ・D I D地区での工事。 <p>(7. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 <p>(8. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故や再発生直後の緊急的な対応が必要な工事で、24時間対応の施工等により早期の完成が求められる工事。 <p>(9. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業現場が広範囲に分布している工事。 <p>(10. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。 <p>(11. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法等による排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施する等、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある工事。 <p>(12. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 <p>(13. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災箇所における二次災害の危険性に対する注意が必要とされる工事 ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面土又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 <p>(14. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イヌワシ等の猛禽類等の貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 <p>(15. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持修繕工事等規模に比して地元調整等の手間がかかる工事。 <p>(16. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における廢機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事
	評 価	評 点 : 0 点	

※1 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
 ※2 一般監督員が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。
 ※3 評価にあたっては、監督員等の意見も参考に評価する。

考査項目別運用表

(主任監督員等用)

考査項目	細 別	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	I 地域への貢献等	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない
<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に応報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> その他（理由： _____）</p> <p>●判断基準</p> <p>※上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c評価を行う。</p>						

検査員用

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I 施工管理	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>契約約款第18条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。</p> <p>施工計画書が、工事着手前又は施工方法が確定した時期に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したもとなっていることが確認できる。</p> <p>工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</p> <p>現場条件又は計画内容に重要な変更が生じた場合（工期や数量等の軽微な変更は除く）は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</p> <p>工事材料を品質に影響が無いよう保管していることが写真等で確認できる。</p> <p>立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</p> <p>建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</p> <p>施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</p> <p>下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる。</p> <p>工事の関係書類を不足無く簡潔に整理していることが確認できる。</p> <p>社内の管理基準の設定、管理方法が工種毎に明確であり、その内容に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>品質証明体制が確立され、ISO9001又は品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。</p> <p>電気設備等について、設備更新時の新旧設備の切り替え作業を、作業手順書やチェックリストにより適切に実施していることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>			<p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・b</p> <p>評価値が80%未満・・・・・・・・c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (14)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I 出来形 土木工事等	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a～b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理図表により確認できる。</p> <p>社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p>写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p>出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p> <p>※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。 なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で品質管理を行うものである。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> </div> </div>						

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
I 出来形		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。</p> <p>設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。</p> <p>施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。</p> <p>設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p>塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p>溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。</p> <p>社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。</p> <p>分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>				<p>出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>		
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・b'</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・c</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (11)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事・通信設備工事 ・受変電設備工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
I 出来形		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>据付に関する出来形管理が、出来形管理図及び出来形管理表により確認できる。</p> <p>機器等の測定（試験）結果が、その都度出来形管理図及び出来形管理表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。</p> <p>写真管理基準の管理項目を満足している。</p> <p>不可視部分の出来形が写真で確認できる。</p> <p>設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>設備全般にわたり、形状・寸法の実測値が許容範囲内であることが確認できる。</p> <p>設備の据付・固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。</p> <p>配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。</p> <p>行先などを表示した名札が、ケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。</p> <p>配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>設計図書に定められている予備品等に不足が無いことが確認できる。</p> <p>高温部等の危険個所への二重表示、二重防護など運用における不可抗力を想定した安全対策が確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>				<p>出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/></p>		<p>出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/></p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・ a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・ b'</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・ c</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (14)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート構造物工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																															
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>コンクリート打設までにさび・どろ・油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの養生が、設計図書の使用を満足していることが確認できる。</p> <p>スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>その他(理由:)</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																																	
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																					
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(14) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>	
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																					

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	コンクリート構造物工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>コンクリート構造物の表面状態が良い。</p> <p>コンクリート構造物の通りが良い。</p> <p>天端仕上げ，端部仕上げ等が良い。</p> <p>クラックが無い。</p> <p>漏水が無い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	土工事 (切土, 盛土, 堤防等工事)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																												
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p>段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。</p> <p>置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。</p> <p>締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。</p> <p>芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</p> <p>構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</p> <p>土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。</p> <p>法面に有害な亀裂が無い。</p> <p>伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>その他(理由:)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																													
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(12) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																		

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	土工事 (切土, 盛土, 築堤等工事)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>【切土工事】</p> <p>規定された勾配が確保されている。</p> <p>切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。</p> <p>法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。</p> <p>滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。</p> <p>関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p> <p>【盛土, 堤防等工事】</p> <p>仕上げが良い。</p> <p>通りが良い。</p> <p>天端及び端部の仕上げが良い。</p> <p>構造物へのすりつけなどが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p> <p>※出来ばえの評価は【切り土工事】【盛土, 堤防等工事】の、どちらか一方のみ評価すること</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>通りが良い。</p> <p>材料のかみ合わせが良く、クラックが無い。</p> <p>天端及び端部の仕上げが良い。</p> <p>既設構造物とのすりつけが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・・・・b</p> <p>該当2項目・・・・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	鋼橋工事（RC床版工事はコンクリート構造物に準じる）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																													
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>【工場製作関係】</p> <p>鋼材の種類別、品質を適切に管理している。</p> <p>溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。</p> <p>孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。</p> <p>欠陥部の発生が見られないことが確認できる。</p> <p>塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</p> <p>素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</p> <p>塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>塗料の品質が出荷証明書・塗料成績表により、製造年月日・ロット番号・色彩・数量が確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p> <p>【架設関係】</p> <p>ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p>ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。</p> <p>高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。</p> <p>架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。</p> <p>架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質・性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。</p> <p>現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>現場塗装において、温度・湿度・風速等の確認を行っていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> </div> <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(21) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>																																			
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	鋼橋工事（RC床版工事はコンクリート構造物に準じる）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>表面に補修箇所が無い。</p> <p>部材表面に傷及び錆が無い。</p> <p>溶接に均一性がある。</p> <p>塗装に均一性がある。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	砂防構造物工事及び地すべり防止工事（集水井工事を含む）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【共通】</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。</p> <p>地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。</p> <p>鉄筋及び鋼材の品質を、適切に管理していることを確認できる。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>その他(理由:)</p> <p>【砂防構造物工事に適用】</p> <p>コンクリート打設までさび・どろ・油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p>アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p>ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>その他(理由:)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

【地すべり対策工事（抑止杭・集水井戸工事を含む）】

アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。

ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。

集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。

その他（理由： _____ ）

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞
 [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験]
 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (21)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	砂防構造物工事及び地すべり防止工事（集水井工事を含む）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>地山との取り合いが良い。</p> <p>天端，端部の仕上げが良い。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当3項目以上・・・a</p> <p>該当2項目・・・・・・b</p> <p>該当1項目・・・・・・c</p> <p>該当項目なし・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	舗装工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <p>設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。</p> <p>路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。</p> <p>路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。</p> <p>路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p>路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</p> <p>路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めを、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。</p> <p>その他（理由：)</p> <p>【アスファルト舗装工関係】</p> <p>アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。</p> <p>舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。</p> <p>プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。</p> <p>舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。</p> <p>縦継目及び横継目の位置・構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。</p> <p>密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>その他（理由：)</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	

考査項目別運用表

(検査員用)

【コンクリート舗装工関係】

コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。

舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。

コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。

圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。

運搬時間、打設方法、養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。

材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。

チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。

その他(理由:)

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>
 [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験]
 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
	a	a'	b	b	
	a'	b	b'	b'	
	b	b'	c	c	
	b'	c	c	c	

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(25)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	舗装工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>舗装の平坦性が良い。</p> <p>構造物の通りが良い。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>構造物へのすりつけ等が良い。</p> <p>雨水処理が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・・・・b</p> <p>該当3項目・・・・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	法面工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>【共通】</p> <p>施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法砕工, コンクリート又はモルタル吹付工関係)</p> <p>施工に際して, 品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p>盛土の施工にあたり, 法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。</p> <p>雨水による崩壊が起こらないように, 排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p>その他(理由:)</p> <p>【種子吹付工, 客土吹付工, 植生基材吹付工関係】</p> <p>土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。</p> <p>ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。</p> <p>ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。</p> <p>吹付け厚さが均等であることが確認できる。</p> <p>使用する材料の種類・品質・配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>その他(理由:)</p> <p>【コンクリート又はモルタル吹付工関係】</p> <p>使用する材料の種類・品質及び配合が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>金網の重ね幅が, 10cm以上確保されていることが確認できる。</p> <p>金網が破損を生じていないことが確認できる。</p> <p>吸水性の吹付け面において, 事前に吸水させてから施工していることが確認できる。</p> <p>吹付け厚さが均等であることが確認できる。</p> <p>吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が, 当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。</p> <p>法肩の吹付けにあたり, 地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>その他(理由:)</p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査員が修補指示を行った。

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

【現場打法砕工関係（プレキャスト法砕工含む）】

- 使用する材料の種類・品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。
- 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。
- 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 枠内に空隙が無いことが確認できる。
- 層間にはく離が無いことが確認できる。
- 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。

その他（理由： _____ ）

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞
 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]
 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評 価 値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (31)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	法面工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目 通りが良い。 植生、吹付等の状態が均一である。 端部処理が良い。 全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・・・b 該当1項目・・・・・・c 該当項目なし・・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	落石防止網工事 (ロープ・ネット工等を含む)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>施工場所の地形・地質・落石形態等を確認し、適正に施工されていることが確認できる。</p> <p>材料の品質規格証明書が整備されていることが確認できる。</p> <p>クリップ、結合コイル等の配置が適切で適正に施工されていることが確認できる。</p> <p>緊張及びグラウト管理が適切に実施されていることが確認できる。</p> <p>装置(機器)のキャリブレーションが実施されていることが確認できる。</p> <p>主・副各ロープの張り方が、適切で適正に施工されていることが確認できる。</p> <p>ロープ支柱の設置(場所・角度等)が、適切で適正に施工されていることが確認できる。</p> <p>ネットの重ね幅が適正に確保・施工されていることが確認できる。</p> <p>その他(理由: _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・b'</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・c</p>					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (9)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	落石防止網工事 (ロープネット等を含む)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>ロープの通りが良い。</p> <p>落石防止網の設置状況が良い。</p> <p>部材表面に傷、錆が無い。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>公共構造物としての安全性、環境及び維持管理への配慮が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・・・・b</p> <p>該当3項目・・・・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	基礎工事及び地盤改良工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																												
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0% 【杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒，場所打，深礎等）】</p> <p>杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。</p> <p>既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており，その記録を整理していることが確認できる。</p> <p>杭頭処理において，杭本体を損傷していないことが確認できる。</p> <p>水平度・鉛直度等が，設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>溶接の品質管理に関して，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>支持地盤に達していることが，掘削深さ・掘削土砂等により確認できる。</p> <p>場所打杭について，トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。</p> <p>掘削深度・排出土砂・孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が，設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>配筋，スペーサーの配置及びコンクリート打設等が，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>ライナープレートの組み立てにあたり，偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p> <p>裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。</p> <p>強度確認，セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p> <p>【地盤改良関係】</p> <p>改良材のバッチ管理記録が整理され，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>セメントミルクの比重・スラリー噴出量・強度等の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>事前に土質試験を実施し，改良材の選定，必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。</p> <p>施工箇所が均一に改良されているとともに，十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。</p>																													
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>					<p>① 当該「評価対象項目」のうち，対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(18) ④ なお，削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>																													

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	基礎工事及び地盤改良工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ	<input type="checkbox"/> 地盤改良	<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 土工関係の仕上げが良い。 通りが良い。 端部及び天端の仕上げが良い。 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 ※地盤改良はb評価以下とする。(地盤改良はチェックする) <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・・・b 該当1項目・・・・・・c 該当項目なし・・・・d 			
		<p>※不可視部は「施工管理記録などから不可視部分の良さが伺える」、可視部は「土工関係の仕上げが良い」において施工管理記録などから出来ばえの良さが確認できた場合に評価することとし、地盤改良においては最大2項目の評価とする。</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ	海岸工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																														
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。</p> <p>転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。</p> <p>捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。</p> <p>工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。</p> <p>台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																															
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (9) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																				

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	海岸工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>構造物等の通りが良い。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</p> <p>構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。</p> <p>構造物等のきめ細やかな施工がなされている。</p> <p>クラックがない。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																												
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>【橋梁(コンクリート橋)上部工事, 補修工事】</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており, コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており, 温度, スランプ, 空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が, 当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>施工条件や気象条件に適した運搬時間, 打設時の投入高さ及び締固め方法が, 定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理して, 必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの養生が, 設計図書の使用を満足していることが確認できる。</p> <p>鉄筋の品質を, 適切に管理していることが確認できる。</p> <p>鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が, 設計図書の使用を満足していることが確認できる。</p> <p>コンクリート打設までにさび・どろ・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>圧接作業にあたり, 作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>鉄筋の組立及び加工が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>スペーサーの品質及び個数が, 設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>プレビュー桁のプレフレクション管理が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。</p> <p>PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>プレストレス時のコンクリート圧縮強度が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>コンクリート圧縮強度の確認は, 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>その他(理由:)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査員が修補指示を行った。</p>																													
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																		
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち, 対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%)=該当項目数(0) / 評価対象項目数(19) ④ なお, 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																																		

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	コンクリート橋上部工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>コンクリート構造物の表面状態が良い。</p> <p>コンクリート構造物の通りが良い。</p> <p>天端及び端部の仕上げが良い。</p> <p>支承部の仕上げが良い。</p> <p>クラックが無い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II 品質	塗装工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																													
		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</p> <p>ケレンを入念に実施していることが確認できる。</p> <p>天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。</p> <p>塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。</p> <p>鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。</p> <p>塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。</p> <p>溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。</p> <p>塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="font-size: small;">品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="font-size: x-small; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p> </div>								ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
	60%未満	b'	c	c	c																																
						<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (10)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>																															

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	塗装工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>塗装の均一性が良い。</p> <p>細部まできめ細かな施工がされている。</p> <p>補修箇所が無い。</p> <p>ケレンの施工状況が良好である。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ	トンネル工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																															
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締めめ方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。</p> <p>坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。</p> <p>金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせていることが確認できる。</p> <p>吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。</p> <p>吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。</p> <p>ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。</p> <p>逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。</p> <p>その他(理由:)</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																																	
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																					
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(15) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
	a	a'	b	b																																			
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																					

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	トンネル工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <ul style="list-style-type: none"> コンクリート構造物の表面状態が良い。 コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ，面取り，端部仕上げ等が良い。 クラックが無い。 漏水が無い。 取付け水路，樹等小型構造物の仕上げが良い。 全体的な美観が良い。 <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 該当6項目以上・・・a 該当5項目・・・・・・b 該当4項目・・・・・・c 該当3項目以下・・・d 			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	公園整備等工種の多い工事 (植栽、標識工は別途)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																												
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>材料の品質規格証明書やミルシートが整備されている。</p> <p>施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p>施工基面の床掘りが適切に行われ、必要以上に深く掘削する等基面を乱すことなく施工していることが確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に、温度、スランプ、空気量等必要な試験を実施しており、測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>運搬時間、運搬方法、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>埋め戻し方法が適切で転圧状況が良好であることが確認できる。</p> <p>材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>材料のかみ合わせ又は、連結が適切で、裏込め材の吸出しの恐れが無い。</p> <p>裏込め材、胴込めコンクリートの充填・締め固めが十分で空隙が生じていない。</p> <p>ブロック工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。</p> <p>石積み工の端部や曲線部の処理・強度が適切であり、積み姿が良い。</p> <p>塗料の空缶監理が、写真等で適切に管理されている。</p> <p>施工前のケレンが入念になされ、施行時の気温及び湿度等の条件が整理記録されている。</p> <p>側溝工等の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。</p> <p>インバートが適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>路床路盤工のブルーローリングを行っている。</p> <p>路盤の施工に先立ち、突き固め試験、密度試験を行い、適切に管理されている。</p> <p>アスファルト混合物の温度管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>アスファルト舗装において適切な温度管理のもと交通開放が行われていることが確認できる。</p> <p>機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき満足している。</p> <p>塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥が無く満足している。</p> <p>植生または種子吹付けの種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>その他(理由:</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																													
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評 90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>価 75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>値 60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評 90%以上	a	a'	b	b	価 75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	値 60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(26) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
評 90%以上	a	a'	b	b																																
価 75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
値 60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																		

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	公園整備等工種の多い工事 (植栽, 標識工は別途)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>二次製品等材料に細心の注意が払われている。</p> <p>きめ細かな施工がなされている。</p> <p>構造物とのすりつけが良い。</p> <p>材料のかみ合わせが良い。又は、クラックが無い。</p> <p>塗装の均一性が良い。</p> <p>公共物としての安全性, 環境及び維持管理への配慮が良い。</p> <p>植生, 吹付け等の状態が均一である。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当7項目以上・・・a</p> <p>該当6項目・・・b</p> <p>該当5項目・・・c</p> <p>該当4項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	植栽工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																													
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>活着が促されるよう管理していることが確認できる。</p> <p>樹木等に損傷、鉢くずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。</p> <p>樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。</p> <p>施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。</p> <p>肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。</p> <p>植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。</p> <p>添木をぐらつきが無いよう設置していることが確認できる。</p> <p>樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																														
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (9) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	植栽工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>樹木の活着状況が良い。</p> <p>支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。</p> <p>支柱の取り付けが堅固である。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当3項目以上・・・a</p> <p>該当2項目・・・・・・b</p> <p>該当1項目・・・・・・c</p> <p>該当項目なし・・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	遊具設置工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																													
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>材料の品質規格証明書やミルシートが整備されている。</p> <p>コンクリート受け入れ時に、温度、スランプ、空気量等必要な試験を実施しており、測定結果が確認できる。</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの湿潤養生等の管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>基礎周りの埋戻し時の締め目が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>材料の保管管理が適切に行われ、キズ、塗装のはがれ等損傷が無いことが確認できる。</p> <p>仕様書に定められた品質管理が実施されていることが確認できる。</p> <p>遊具のボルト、ナット等の締付けが十分であることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																														
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> </div>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b'		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (9) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>	
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b'																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	遊具設置工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>部材表面に傷，錆，変色及び補修箇所が無い。</p> <p>基礎周りの埋戻し・締め固めが入念に施工されている。</p> <p>各部材の連結が適切に処理，管理され，遊具のボルト・ナット等の締付けが十分である。</p> <p>遊具の安全領域に配慮された施工となっている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	防護柵（網）・標識・区画線等設置工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																													
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>防護柵設置要綱，視線誘導標設置基準，道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。</p> <p>防護柵等の床堀りの仕上がり面において，地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。</p> <p>防護柵等の基礎工の施工にあたって，無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。</p> <p>防護柵等の支柱の施工にあたって，既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。</p> <p>基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して，施工していることが確認できる。</p> <p>防護柵の支柱の根入長が，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>ガードケーブルを支柱に取付ける場合，設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。</p> <p>ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合，打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。</p> <p>ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が，10%以下であることが確認できる。</p> <p>区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>区画線の施工にあたって，設置路面の水分・泥・砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。</p> <p>区画線を消去の場合，表示材（塗料）のみの除去となっており，路面への影響が最小限となっていることが確認できる。</p> <p>プライマーの施工にあたって，路面に均等に塗布していることが確認できる。</p> <p>区画線の材料が，設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。</p>																														
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		a'	b	b'	b'		b	b'	c	c		b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち，対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(16) ④ なお，削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b																																	
	a'	b	b'	b'																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	防護柵（網）・標識・区画線等設置工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>【防護柵（網）】</p> <p>通りが良い。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>部材表面に傷及び錆が無い。</p> <p>既設構造物等とのすりつけが良い。</p> <p>きめ細やかに施工されている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>【区画線】</p> <p>塗料の塗布が均一である。</p> <p>視認性が良い。</p> <p>接着状態が良い。</p> <p>施工前の清掃が入念に実施されている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>【標識】</p> <p>設置位置に配慮がある。</p> <p>標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。</p> <p>標識版の支柱に変色が無い。</p> <p>支柱基礎が入念に埋め戻されている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>※【防護柵】，【区画線】，【標識】のうち1工種を選択する。</p>			
		<p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			
		<p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			
		<p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																														
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。</p> <p>管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。</p> <p>プラント出荷時・現場到着時・舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。</p> <p>特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。</p> <p>特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。</p> <p>埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。</p> <p>管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																															
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(10) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																				

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>歩道及び車道の舗装（含、仮復旧舗装）の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。</p> <p>プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。</p> <p>施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さが伺える。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当3項目以上・・・a</p> <p>該当2項目・・・・・・b</p> <p>該当1項目・・・・・・c</p> <p>該当項目なし・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート補修工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>仕様書に記載されていない項目について、管理基準等が施工計画書に明記されていることが確認できる。</p> <p>材料の品質規格証明書が整備されていることが確認できる。</p> <p>施工計画書及び工事写真等において、実施する施工方法の手順が確認できる。</p> <p>ハツリ・ケレンが設計図書どおり施工してあることが確認できる。</p> <p>鉄筋の処理が設計図書どおり施工してあることが確認できる。</p> <p>施工時の気温、温度等の条件が整理記録されている。</p> <p>接着剤塗布面が乾燥状態であることが確認できる。</p> <p>接着剤が適正に塗布され、塗り残し、ムラ等が無いことが確認できる。</p> <p>接着剤が硬化する前に、部材の取付が行われていることが確認できる。</p> <p>充填材が適性であり、所要量が適正に充填されたことが確認できる。</p> <p>材料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・b'</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・c</p>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (12)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>	

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	コンクリート補修工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>部材の接着状態が良い。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>既設構造物とのすりつげが良い。</p> <p>漏水が無い。</p> <p>細部まできめこまかな施工がなされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	橋梁修繕工事（橋脚補強，耐震補強，落橋防止等）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>使用する材料の品質・形状等が適切であり，かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p>構造物の劣化状況をよく把握して，適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>監督職員の指示事項に対して，現地状況を勘案し，施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p>施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。</p> <p>理由：</p> <p>理由：</p> <p>理由：</p> <p>理由：</p>				<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。	
		<p>●判断基準</p> <p>該当項目が6項目以上・・・a</p> <p>該当項目が5項目・・・a'</p> <p>該当項目が4項目・・・b</p> <p>該当項目が3項目・・・b'</p> <p>該当項目が2項目以下・・・c</p>						

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	橋梁修繕工事（橋脚補強, 耐震補強, 落橋防止等）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>小構造物等にも注意が払われている。</p> <p>きめ細やかな施工がなされている。</p> <p>既設構造物等とのすりつけが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当3項目以上・・・a</p> <p>該当2項目・・・b</p> <p>該当1項目・・・c</p> <p>該当項目なし・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	維持修繕や小規模な付属構造物工事等	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>材料の品質規格証明書が整備されていることが確認できる。</p> <p>施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p>施工基面の床堀が適切に行われ、必要以上に深く掘削する等基面を乱すこと無く施工していることが確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に、温度、スランプ、空気量等必要な試験を実施しており、測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>運搬時間、運搬方法、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>盛土・埋戻し方法が適切で転圧状況が良好であることが確認できる。</p> <p>材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>ブロック積、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いように行っていることが確認できる。</p> <p>裏込材及び胴詰めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。</p> <p>側溝工等の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切であることが確認できる。</p> <p>インパートが適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>路床・路盤工のブルーローリングを行っていることが確認できる。</p> <p>施工に先立ち、突き固め試験、密度試験を行い、適切に管理されていることが確認できる。</p> <p>アスファルト混合物の温度管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>アスファルト舗装において適切な温度管理のもと交通開放が行われていることが確認できる。</p> <p>芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>その他(理由: _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・b'</p> <p>評価値が60%未満・・・c</p>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (19)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>	

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	維持修繕や小規模な付属構造物工事等	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>二次製品等材料に細心の注意が払われている。</p> <p>きめ細かな施工がなされている。</p> <p>構造物とのすりつけが良い。</p> <p>仕戻し(小口部)が適切に施工されている。</p> <p>公共物としての安全性、環境及び維持管理への配慮が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	維持修繕工事（清掃工，除草工，付属物工，応急処理等）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>使用する材料の品質・形状等が適切であり，かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p>構造物の劣化状況を良く把握して，適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>監督員の指示事項に対して，現地状況を勘案し，施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p>緊急的な作業において，迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</p> <p>理由：</p> <p>理由：</p> <p>理由：</p> <p>理由：</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>●判断基準</p> <p>該当項目が6項目以上・・・a</p> <p>該当項目が5項目・・・a'</p> <p>該当項目が4項目・・・b</p> <p>該当項目が3項目・・・b'</p> <p>該当項目が2項目以下・・・c</p> <p>※記載の4項目を必須の評価対象項目とし，この他に適宜項目を追加して評価するものとする。</p> <p>ただし，評価対象項目は最大8項目とする。</p>						

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	維持修繕工事（清掃工，除草工，付属物工，応急処理等）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>小構造物等にも注意が払われている。</p> <p>きめ細かな施工がなされている。</p> <p>既設構造物とのすりつけが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当3項目以上・・・a</p> <p>該当2項目・・・・・・b</p> <p>該当1項目・・・・・・c</p> <p>該当項目なし・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ II 品質	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている		
		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。</p> <p>設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。</p> <p>設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。</p> <p>機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。</p> <p>溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</p> <p>塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</p> <p>操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、正常に作動することが確認できる。</p> <p>操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。</p> <p>小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。</p> <p>設備の取扱説明書を適切に作成していることが確認できる。</p> <p>完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。</p> <p>機器の配置について、点検しやすいことが確認できる。</p> <p>設備の構造や機器の配置について、交換頻度の高い部品等の交換作業が容易にできることが確認できる。</p> <p>二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。</p> <p>バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。</p> <p>計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。</p> <p>回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。</p> <p>構造物の劣化状況を良く把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど、積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p>その他(理由: _____)</p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。		
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満.....b</p> <p>評価値が60%以上70%未満.....b'</p> <p>評価値が60%未満.....c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(20)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>							

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	機械設備工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>主設備，関連設備及び操作・制御設備が全体的に統制されており，運転操作性が良い。</p> <p>きめ細かな施工がなされている。</p> <p>土木構造物，既設設備等とのすりつけが良い。</p> <p>溶接，塗装，組立等にあたって，細部に渡る配慮がなされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	電気設備工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。</p> <p>材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。</p> <p>操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。</p> <p>ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</p> <p>設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p>設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。</p> <p>設備全体についての取扱説明書を適切に作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。</p> <p>完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</p> <p>設備の構造について、点検や消耗品の取替え作業が容易にできることが確認できる。</p> <p>障害、災害発生を想定した代替機能、迂回などのフェールセーフ機能を現地試験等で確認していることが確認できる。</p> <p>設備の耐震設計について、受注者自らが確認、精査したことが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>		
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・ a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・ b'</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・・・・・ c</p>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (15)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>		

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	電気設備工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>きめ細やかな施工がなされている。</p> <p>公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。</p> <p>動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。</p> <p>ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。</p> <p>操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ	通信設備工事・受変電設備工事等	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている		
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。</p> <p>材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。</p> <p>材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>ケーブル及び配管の接続等の作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。</p> <p>設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。</p> <p>完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p>完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。</p> <p>設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。</p> <p>設備全体についての取扱説明書を適切に作成していることが確認できる。</p> <p>完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。</p> <p>設備の構造について、点検や消耗品の取替え作業が容易にできることが確認できる。</p> <p>障害、災害発生を想定した代替機能、迂回などのフェールセーフ機能を現地試験等で確認していることが確認できる。</p> <p>設備の耐震設計について、受注者自らが確認、精査したことが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>				
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・ a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・ b'</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・ c</p>	<table border="1"> <tr> <td> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (15)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </td> </tr> </table>					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (15)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (15)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>										

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	通信設備工事・ 受変電設備工事等	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>主設備，関連設備等にきめ細やかな施工がされている。</p> <p>公共物として，安全性の確保，環境及び維持管理等への配慮がなされている。</p> <p>動作状態において，電氣的及び機械的な異常が無く，総合的な機能及び運用性が良い。</p> <p>当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され，総合的な性能向上への配慮がなされている。</p> <p>操作，保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	上水道工事 (管布設工, 開削工)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。</p> <p>管材や埋め戻し材料等が適正であり、写真及び品質規格証明書等が整備されていることが確認できる。</p> <p>掘削面を必要以上に深く掘削すること無く、施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。又、転石があれば除去していることが確認できる。</p> <p>仮設工（山留工・支保工等）の施工が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>埋戻し方法が適切で転圧状況が良好であることが確認できる。</p> <p>材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>管内への土砂等侵入防止対策が施されていることが確認できる。</p> <p>継ぎ手部の接合（挿入長・締め付けトルク・融着手順等）が適正に行われ、写真、チェックシート等を整備していることが確認できる。</p> <p>切管部が規定どおり加工され、離脱防止金具等が規定どおり設置されていることが確認できる。</p> <p>管明示テープ、ポリスリーブ等が規定どおり施工されていることが確認できる。</p> <p>埋設シートが規定どおり施工されていることが確認できる。</p> <p>他の埋設物等との隔離が確保されていることが確認できる。</p> <p>弁、栓類が規定どおり施工されていることが確認でき、BOX類も適切に施工されている。</p> <p>水圧試験により規定の水密性が確保されていることが確認できる。</p> <p>路面の仮復旧が日々良好に行われていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____)</p> <p>【コンクリート工の施工がある場合】</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に、温度、スランプ、空気量等必要な試験を実施しており、測定結果が確認できる。</p> <p>運搬時間、運搬方法、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）</p> <p>その他（理由： _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	

考査項目別運用表

(検査員用)

		<p>【薬液注入工の施工がある場合】</p> <p>材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p>薬液注入圧力と注入量の管理が適正に行われている。</p> <p>注入材料について搬入量、残数量により使用量の確認ができる。</p> <p>注入効果の確認ができる。</p> <p>薬液注入による影響を防止するための水質調査等を適切に行うなど監視体制が確立されている。</p> <p>その他（理由： _____)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4 参照。</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>●判断基準</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p> </div>			ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																													
		50%以下	80%以下	80%を超える																														
評価値	90%以上	a	a'	b	b																													
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																													
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																													
	60%未満	b'	c	c	c																													

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (26)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	上水道工事 (管布設工, 開削工)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>管の通りが良い。</p> <p>弁, 栓類及び鉄蓋の傾き, ガタツキが無い。</p> <p>弁, 栓類の操作, 維持管理に支障が無い。</p> <p>舗装の平坦性が良く, マンホール蓋等へのすりつけが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3. 出来形及び出来ばえ	下水道工事（開削工）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																											
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>管材、埋め戻し材料、マンホール資材等が適正で、写真や品質規格証明書等が整備され、規格、品質が確認できる。</p> <p>材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>仮設工（山留工・支保工等）の施工が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>掘削面を必要以上に深く掘削することなく、施工基面が均一に施工されていることが確認できる。</p> <p>基礎砂及び中詰砂が適正な施工が行われていることが確認できる。</p> <p>埋め戻し方法が適切で転圧状況が良好であることが確認できる。</p> <p>管渠の接合（挿入長・接合材料・接合手順等）が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>管の通りが良く、水溜りが無いことが確認できる。</p> <p>取付管施工において、適正な施工が行われていることが確認できる。</p> <p>インバートが適切に施工されている。</p> <p>マンホールの施工（組立接合・ステップ・副管・蓋等）が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>路面の仮復旧が日々良好に行われていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____)</p> <p>【薬液注入工の施工がある場合】</p> <p>材料の品質規格証明書が整備されていることが確認できる。</p> <p>薬液注入（圧力、注入量、ゲルタイム、比重、注入時間等）の管理が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>注入材料について搬入量、残数量により使用量(入荷・空袋・空缶確認)の確認ができる。</p> <p>注入効果の確認(フェノールフタレイン反応や土質試験等)が行われていることが確認できる。</p> <p>薬液注入による影響を防止するための水質調査について、位置・時期・方法を協議の上、監視体制が確立されていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____)</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																													
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																	
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%)=該当項目数(0)÷評価対象項目数(19) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%を超える																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																	

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	下水道工事（開削工）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>管渠の通りが良く、水溜まりが無い。</p> <p>管渠内の清掃状況が良好である。</p> <p>マンホールと管渠の接続部の仕上げが良い。</p> <p>インバートの仕上げが良い。</p> <p>マンホール内の仕上げが良く、漏水及び侵入水が無い。</p> <p>マンホール蓋に汚れ、錆等が付着していない。</p> <p>マンホール天端と路面とのすりつけが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当7項目以上・・・a</p> <p>該当6項目・・・b</p> <p>該当5項目・・・c</p> <p>該当4項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	上下水道工事 (推進工・シールド工)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている	
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【共通】</p> <p>管材, 埋め戻し材料, マンホール資材等が適正で, 写真や品質規格証明書等が整備され, 規格, 品質が確認できる。</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており, コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に, 温度, スランプ, 空気量等必要な試験を実施しており, 測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が, 当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>運搬時間, 運搬方法, 打設時の投入高さ, 締固時のバイブレータの機種及び養生方法が, 施工条件及び気象条件に適しており, 定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し, 必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリート打設まで錆・どろ・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>鉄筋の組立及び加工が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>掘削面を必要以上に深く掘削する等, 基礎地盤を乱さず適正に管理されていることが確認できる。(ケーシング立坑等水中掘削を伴うものは除く)</p> <p>仮設工(矢板・ケーシング・ライナープレート等)の施工が適切(施工計画との整合, 地山との隙間処理〔裏込め等〕)に行われていることが確認できる。</p> <p>使用機器の較正(キャリブレーション)が定期的に行われていることが確認できる。</p> <p>掘削土量と推進量のバランスが適切であることが確認できる。</p> <p>管渠の基準高, 水平変位が日々管理されており, 異常値が無いことが確認できる。</p> <p>スペーサーの寸法, 品質及び個数が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>スペーサーを適切に配置し, 鉄筋の被りを確保している。</p> <p>裏込め注入材が適正であり, 適切な配合のもと, 計画注入量, 注入圧等を管理していることが確認できる。</p> <p>掘進路線上に沈下測定点を設け, 一定期間(掘進前, 中, 後)定期的に計測し, 沈下が無いことを確認している。</p> <p>漏水防止工が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>埋め戻し方法が適切で転圧状況が良好であることが確認できる。</p> <p>マンホールの施工(組立接合・ステップ・副管・蓋等)が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>インパルトが適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>その他(理由:</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査員が修補指示を行った。</p>	

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

		<p>【推進工】</p> <p>鋼製及びSUSカラー、ゴム輪等の継ぎ手材料が適正で、かつ適切に施工されていることが確認できる。(TVカメラ調査結果も含む。)</p> <p>管材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>止水器が適切に設置されていることが確認できる。</p> <p>推進機の機能が土質に適合し、推進力のチェック等が行われており、かつ安全であることが確認できる。</p> <p>推進滑材・掘削添加材の材料及び数量が適正であることが確認できる。</p> <p>管渠の接合(挿入長・接合材料・接合手順等)が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>鞘管方式の場合、本管据付に係るスペーサーの配置等が適正であり、中込材が適切な配合のもと完全に充填されたことが確認できる。</p> <p>その他(理由: _____)</p> <p>【シールド工】</p> <p>セグメントの規格、品質等が品質証明書(検査証明書)で確認できる。</p> <p>立坑基礎地盤面の地耐力試験が行われており、管理が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>シールド機の機能が土質や施工条件に適合し、かつ掘進力のチェックなどが行われており、安全であることが確認できる。</p> <p>一次覆工時におけるシールド材の貼付、セグメントの組み立てが適切に行われていることが確認できる。</p> <p>二次覆工時における型枠(セントル)の組み立てが適切に行われていることが確認できる。</p> <p>その他(理由: _____)</p> <p>【薬液注入工の施工がある場合】</p> <p>材料の品質規格証明書が整備されていることが確認できる。</p> <p>薬液注入(圧力、注入量、ゲルタイム、比重、注入時間等)の管理が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>注入材料について搬入量、残数量により使用量(入荷・空袋・空缶確認)の確認ができる。</p> <p>注入効果の確認(フェノールフタレイン反応や土質試験等)が行われていることが確認できる。</p> <p>薬液注入による影響を防止するための水質調査について、位置・時期・方法を協議の上、監視体制が確立されていることが確認できる。</p> <p>その他(理由: _____)</p>																																	
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																	
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%)=該当項目数(0)/評価対象項目数(42) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
		50%以下	80%以下	80%を超える																															
評価値	90%以上	a	a'	b	b																														
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
	60%未満	b'	c	c	c																														
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																	

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	上下水道工事 (推進工・シールド工)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>漏水が無い。</p> <p>管の通りが良い。</p> <p>マンホールに破損、クラックが無い。</p> <p>マンホール天端と路面のすりつけが良い。</p> <p>マンホール内の仕上げが良い。</p> <p>インバートの仕上げが良い。</p> <p>マンホール蓋に汚れ、錆等が付着していない。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>※推進工事又はシールド工事と同時施工の場合、総合的に判断する。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当7項目以上・・・a</p> <p>該当6項目・・・b</p> <p>該当5項目・・・c</p> <p>該当4項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	下水道工事 (圧送管)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																													
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>材料の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>施工基面の均一な施工が確認できる。</p> <p>一層あたりの巻出し厚を管理し、締固めが適切にされていることが確認できる。</p> <p>管理設に転石木片等の異物が無いことが確認できる。</p> <p>路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。</p> <p>吊り込み時、据付時等、二次製品の品質に影響無く適切に施工していることが確認できる。</p> <p>管切断が直角であり切断面の処理が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>挿入標線の確認、融着及び冷却が適正に行われている。</p> <p>融着完了の確認がなされている。</p> <p>薬液注入材が適正であり適切に注入されたことが確認できる。</p> <p>アスファルト混合物の温度管理を、現場到着時、初期締固め前及び、交通開放前に行っていることが確認できる。</p> <p>水圧試験、真空試験等が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>X線による試験を行った場合の異常が無い。</p> <p>配管接合作業が継手チェックリストにより適切に管理されている。</p> <p>その他 (理由 :)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																														
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (15) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	下水道工事（圧送管）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>管の通りが良い。</p> <p>弁栓類や鉄蓋類の据え付けが良い。</p> <p>マンホールの管口の接続が良い。</p> <p>舗装の端部処理が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ	下水道工事 (マンホール修繕工・改築工)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																														
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>アンカーの削孔深さは、承諾図書のとおり施工されていることが確認できる。</p> <p>無収縮モルタルの配合は、施工計画書のとおり行われていることが確認できる。</p> <p>アスファルト補修材の配合は、施工計画書のとおり行われていることが確認できる。</p> <p>無収縮モルタルの硬化後に、アスファルト補修の施工が行われていることが確認できる。</p> <p>無収縮モルタル、アスファルト補修材の配合時及び施工時の天候・温度管理記録が整理されていることが確認できる。</p> <p>無収縮モルタル、アスファルト補修材が所定強度を満たしていることが確認できる。</p> <p>アスファルト補修材の材料が均等に混ざり、部分的な施工不良が生じていないことが確認できる。</p> <p>使用材料の空缶・空袋管理が写真等で確認できる。</p> <p>掘削土砂が、マンホール内に崩落しない措置がとられていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																															
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (10) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																				

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	下水道工事 (マンホール修繕工・改築工)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>マンホール内に落下した土砂・コンクリート殻等が適切に撤去されている。</p> <p>マンホール内・蓋の清掃が行われている。</p> <p>マンホール蓋のがたつきが無い。</p> <p>既設舗装及びマンホール蓋等への舗装すりつけが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ	上下水道工事 (管渠更生工)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																														
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>既設管の劣化状況を事前調査し、事前処理を的確に行っていることが確認できる。</p> <p>材料挿入速度を適正に管理し、データシート等を整備していることが確認できる。【熱硬化、光硬化、熱形成】</p> <p>硬化時に圧力、温度、時間、電源を適正に管理し、データシート等を整備していることが確認できる。【熱硬化、光硬化】</p> <p>反転時、拡径時に圧力を適正に管理し、データシート等を整備していることが確認できる。【熱硬化、光硬化】</p> <p>冷却養生時に温度、時間、圧力を適正に管理し、データシート等を整備していることが確認できる。【熱硬化、光硬化、熱形成】</p> <p>蒸気加熱時に圧力、温度、時間を適正に管理し、データシート等を整備していることが確認できる。【熱形成】</p> <p>拡径及び冷却時の圧力、時間を適正に管理し、データシート等を整備していることが確認できる【熱形成】</p> <p>かん合継手部分の状態を管理し、適正に施工していることが確認できる。【製管】</p> <p>充填材（裏込材）の性状、注入圧力、注入量等を適正に管理し、データシート等を整備していることが確認できる。【製管】</p> <p>材料の端部や接合部の処理、強度、水密性が適切である。</p> <p>現場試験片及びテストピースにより、硬化確認ができる。</p> <p>材料の品質が証明書等で確認できる。</p> <p>材料が適正に保管されていることが確認できる。</p> <p>使用材料の空袋・空缶が写真及び伝票等で確認できる。</p> <p>耐震性能が証明書等で確認できる。</p> <p>その他（理由： _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																															
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (16) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>	
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																				

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ III 出来ばえ	下水道工事 (管渠更生工)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>内面仕上げの状態が良い。</p> <p>マンホール管口処理の状態が良い。</p> <p>取付け管口処理の状態が良い。</p> <p>継手と更生管とのすりつけ状態が良い。</p> <p>かん合の状態が良い。</p> <p>マンホール周辺の清掃等が実施されている。</p> <p>管渠の通りが良く、水溜りが無い。</p> <p>しわの発生が無い。(既設管の形状に起因する場合を除く。)</p> <p>既設の管・マンホールと更生部材との隙間充填が良好である。</p> <p>管やマンホール内の仕上げが良く漏水が無い。</p> <p>ステップの設置状況・通りが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が85%以上・・・・・・・・a</p> <p>評価値が70%以上85%未満・・・b</p> <p>評価値が45%以上70%未満・・・c</p> <p>評価値が45%未満・・・・・・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	水管橋工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																												
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。</p> <p>溶接作業にあたり、溶接工の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>鋼材のボルト締め付け確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p>鋼材の溶接管理、塗装管理が規定どおり実施され、内容が確認でき、欠陥なく満足している。</p> <p>素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</p> <p>塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p> <p>【コンクリート工の施工がある場合】</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む。）</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>鉄筋の品質を、適切に管理していることが確認できるとともに、組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																													
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(15) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																		

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	水管橋工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>表面に傷，錆，補修個所が無い。</p> <p>弁，栓類の傾き，がたつきが無い。</p> <p>溶接，塗装，組立の均一性が良い。</p> <p>コンクリート構造物の肌が良い。</p> <p>クラックが無く，天端仕上げ，端部仕上げが良い。</p> <p>溶接，塗装，組立等にあたって，細部に渡る配慮がなされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当6項目以上・・・a</p> <p>該当5項目・・・b</p> <p>該当4項目・・・c</p> <p>該当3項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	管水路工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																												
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>材料の品質規定証明書が整備されている。</p> <p>材料の保管管理が適切であることが確認できる。</p> <p>床堀の幅、深さ、勾配等が適切である。</p> <p>施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p>すきまゲージ等により、管等の据付が適切であることが確認できる。</p> <p>ボルトの締付け確認が実施され、記録が整備されている。</p> <p>切管の端部処理（面取り、塗装等）が適切に行われている。</p> <p>弁類、弁室が適切に据え付けられている。</p> <p>管路敷設完了後、速やかに埋戻しを実施されていることが確認できる。</p> <p>基礎砂等の土質が適切で、埋戻し、転圧状況が良好である。</p> <p>埋設表示シートが適切に設置してあることが確認できる。</p> <p>独自に通水試験等を実施し、漏水の恐れがないことを確認している。</p> <p>舗装切断が適切に行われている。</p> <p>路面（舗装含む）の復旧が適切に行われている。</p> <p>その他（理由： _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																													
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>90%以上</th> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	90%以上	50%以下	80%以下	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (8) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	90%以上	50%以下	80%以下																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																		

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	管水路工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえ（施設のとおり等）の良さが伺える。</p> <p>構造物・施設の表面に、傷・錆等がない。</p> <p>きめ細やかな施工がなされている。</p> <p>舗装復旧の状況が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	函渠工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																												
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>施工基面の支持地盤の強度確認を行っている。</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に、温度、スランプ、空気量等必要な試験を実施しており、測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>運搬時間、運搬方法、打設時の投入高さ、締固時のバイプレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの湿潤養生等の管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>鉄筋の品質を、適切に管理していることが確認できる。</p> <p>コンクリート打設まで錆・どろ・油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>スペーサーの寸法、品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>二次製品の品質が品質証明書等で確認できる。</p> <p>二次製品が適切に保管されていることが確認できる。</p> <p>吊り込みや据付時等、二次製品の品質に影響無く、適切に施工していることが確認できる。</p> <p>縦締めPC鋼棒の緊張力の確認を行って、グラウト注入を施工していることが確認できる。</p> <p>継ぎ目部の目地が適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>呑み口、吐け口、集水桝等の取付けコンクリートが適切に施工されている。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>その他(理由:)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																													
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(21) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																		

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	函渠工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>構造物の通りが良い。</p> <p>材料の連結・かみ合わせが良い。</p> <p>天端及び端部の仕上げ等が良い。</p> <p>クラックが無い。</p> <p>舗装の平坦性が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・・・・b</p> <p>該当3項目・・・・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ	二次製品構造物工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																														
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【共通】</p> <p>材料の品質規定証明書が整備されている。</p> <p>施工基面が平滑に仕上がっている。</p> <p>施工基面の床堀が適切に行われ、必要以上に深く掘削する等、基面を乱すことなく施工していることが確認できる。</p> <p>裏込め材、胴込めコンクリートの充填・締固めが充分で空隙が生じていない。</p> <p>材料のかみ合わせ又は、連結が適切で、裏込め材の吸出しの恐れがない。</p> <p>ブロック工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。</p> <p>支持地盤の確認ができる資料がある。</p> <p>緊張等の管理がなされている。</p> <p>遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切である。</p> <p>ブロック（環境・緑化）の壁体重量が確認できる。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>その他（理由： _____）</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																															
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (12) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																				

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	二次製品構造物工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>二次製品等材料に細心の注意が払われている。</p> <p>通りが良い。</p> <p>材料のかみ合わせが良い。または、クラックが無い。</p> <p>天端，端部の仕上がりが良い。</p> <p>既設構造物とのすりつけが良い。</p> <p>きめ細かな施工がなされている。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3. 出来形及び出来ばえ	補強土壁工事 (テールアルメ工法等)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																																
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>盛土材料の土質が適正である。</p> <p>材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p>施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p>施工基面の床掘りが適切に行われ、必要以上に深く掘削するなど基面を乱すことなく施工していることが確認できる。</p> <p>地下排水工が施工時の湧水処理を含めて適切で、補強領域内に影響のないように施工してある。</p> <p>材料のかみ合わせ又は、連結が適切で、透水防砂材が設置されており、裏込め材の吸出しの恐れが無い。</p> <p>ブロック工の基礎部、端部や隅角部・曲線部の処理が適切である。</p> <p>支持地盤の確認できる資料がある。</p> <p>材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>補強材が適性に配置されているのが確認できる。</p> <p>盛土材料の締め管理が適正に行われており、締め度が確認できる資料がある。</p> <p>その他(理由:)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																																	
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																						
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(12) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																			
		50%以下	80%以下	80%を超える																																				
	a	a'	b	b																																				
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
	60%未満	b'	c	c	c																																			
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																						

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	補強土壁工事 (テールアルメ工法等)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>二次製品等材料に細心の注意が払われている。</p> <p>通りが良い。</p> <p>材料のかみ合わせが良い。または、クラックが無い。</p> <p>天端，端部の仕上げ等が良い。</p> <p>既設構造物とのすりつけが良い。</p> <p>きめ細かな施工がなされている。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・・・・b</p> <p>該当3項目・・・・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ II 品質	補強土壁工事 (ジオテキスタイル)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																															
		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>盛土材料の土質が適正である。</p> <p>材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p>施工基面の床掘りが適切に行われ、必要以上に深く掘削するなど基面を乱すことなく施工していることが確認できる。</p> <p>支持地盤の確認できる資料がある。</p> <p>施工面が平滑に仕上げられている。</p> <p>補強材が適性に配置されているのが確認できる。</p> <p>ジオグリッドの曲線部の処理が適切である。</p> <p>盛土材料の締め管理が適正に行われており、締め度が確認できる資料がある。</p> <p>盛土材料毎の含水比が管理値を満足していることが確認できる。</p> <p>雨水による品質低下が起こらないように、降雨対策、排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p>フィルター工、ドレーン工等の施行が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>のり面が植生工の場合、のり面より最低20cmは良質土としている。</p> <p>その他（理由： _____)</p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																															
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																					
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (13) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																					

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	補強土壁工事 (ジオテキスタイル)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>材料に細心の注意が払われている。</p> <p>通りが良い。</p> <p>材料のかみ合わせが良い。または クラックが無い。</p> <p>天端, 端部の仕上げ等が良い。</p> <p>既設構造物とのすりつけが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が80%以上・・・・・・ a</p> <p>評価値が60%以上80%未満・・・・ b</p> <p>評価値が40%以上60%未満・・・・ c</p> <p>評価値が40%未満・・・・・・ d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	解体工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>工事写真, 施工記録等において, 仕様書等の注意事項が守られていることが確認できる。</p> <p>解体機械が転倒しないような対策が行われていることが確認できる。</p> <p>解体作業手順が施工計画書に基づいて安全に行われていることが確認できる。</p> <p>振動, 騒音, 埃及び交通安全等の対策を講じる等, 隣接する住居等への配慮がされていることが確認できる。</p> <p>解体状況が良いことが写真等により判断できる。</p> <p>分別, 再資源化状況がわかり, 適正に管理されていることが確認できる。</p> <p>マニフェストの整理状況が良く, 廃棄物及び発生材の処理が適正であることが確認できる。</p> <p>石綿の飛散防止対策(作業実施の届出, 作業基準の遵守等規制措置)の徹底と実施内容を掲示していることが確認できる。</p> <p>その他(理由:)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・b'</p> <p>評価値が60%未満・・・c</p>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち, 対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (9)</p> <p>④ なお, 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>	

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	解体工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>隣接する住居等に配慮し、周辺施設に破損が無い、又は補修対応している。</p> <p>解体後の敷地が良好で、雨水排水等にきめ細かな配慮がなされている。</p> <p>解体後の残存物が無く、解体後の状態が良好である。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当3項目以上・・・a</p> <p>該当2項目・・・b</p> <p>該当1項目・・・c</p> <p>該当項目なし・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ	仮設工工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																													
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>仮設材にそり、ゆがみ、傷が無い。</p> <p>仮設材の組立・設置が確実になされ、かつ点検も行われている。</p> <p>周辺環境（騒音・振動・地盤変動等）に配慮した施工方法で実施している。</p> <p>施工記録等により設計条件に適合した根入れ長で施工されていることが確認できる。</p> <p>排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。</p> <p>その他（理由： _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																														
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (6) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>			
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	仮設工工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>鋼矢板・親杭の通りが良い。</p> <p>覆工板にガタツキが無い。</p> <p>鋼矢板のかみ合わせ等不良部分が無い。</p> <p>床付け面の仕上げが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	鋼矢板打込 (耐震対策) 工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>指定材料の規格・品質が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>鋼矢板の継手部のかみ合わせを確実に施工していることが確認できる。</p> <p>導材を設置し、鋼矢板のふれ、よじれ、倒れを防止していることが確認できる。</p> <p>矢板の打ち込みに際して、隣接矢板が共下がりしていないことが確認できる。</p> <p>ウォータージェット併用工法の場合、打ち止めを併用機械で貫入させ、落ち着かせていることが確認できる。</p> <p>鋼矢板を变形がないよう運搬、保管していることが確認できる。</p> <p>矢板の引き抜き跡の空洞を砂等で充填し、地盤沈下を防いでいることが確認できる。</p> <p>腹起こしの施工にあたり、隙間が生じないよう矢板と十分に密着していることが確認できる。</p> <p>その他 (理由 : _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上 a</p> <p>評価値が80%以上90%未満 a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満 b</p> <p>評価値が60%以上70%未満 b'</p> <p>評価値が60%未満 c</p>					<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (9)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	鋼矢板打込（耐震対策）工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>土工関係の仕上げが良い。</p> <p>通りが良い。</p> <p>施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p>細部まできめ細やかな施工がされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																															
3. 出来形及び出来ばえ	地盤改良工事(ペーパードレーン, サンドドレーン, サンドコンパクション, 深層混合処理)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																															
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【共通】</p> <p>濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p>既設構造物に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>航行船舶に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。</p> <p>気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。</p> <p>設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</p> <p>作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。</p> <p>その他(理由:)</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>																																	
		<p>【地盤改良関係】</p> <p>改良材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の使用を満足している。</p> <p>浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。</p> <p>サンドドレーン、砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。</p> <p>ペーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。</p> <p>深層混合処理の打込記録等から、設計図書に定められている事項が確認できる。</p> <p>前記以外の改良工法について、記録から設計図書に定められている事項が確認できる。</p> <p>盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。</p> <p>その他(理由:)</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																																	
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。＜判断基準参照＞</p> <p>[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																					
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">ばらつきで判断可能</th> <th colspan="3">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(16)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。</p>	
	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能																																					
		50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																		
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
	60%未満	b'	c	c	c																																		
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																					

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	地盤改良工事(ベ-バ-ドレン, サドドレン, サドコンパ-クシ-ン, 深層混合処理)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</p> <p>施工後の表面及び底面等の全体的な仕上がりが良い。</p> <p>浚渫及び盛り上り等の土砂が適切に処理されている。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当3項目以上・・・a</p> <p>該当2項目・・・・・・b</p> <p>該当1項目・・・・・・c</p> <p>該当項目なし・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																												
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【整地工】</p> <p>汚濁防止施設が目的どおり施工されたことが確認できる。</p> <p>法面に有害な亀裂が無い。</p> <p>田面，畦畔に不等沈下が無い。</p> <p>暗渠排水の位置，深さ，延長が設計どおりである。</p> <p>法面勾配が設計どおりである。</p> <p>田面に片寄りが無く均平に仕上げられている（基盤面及び表土面）。</p> <p>排水渠の延長，型式が設計どおりであり，排水勾配が適切である。</p> <p>田面の石礫が適切に除去されている。（基盤面及び表土面）。</p> <p>その他（理由： _____)</p> <p>【水路工】</p> <p>材料が設計図書の仕様を満足しており，品質が証明書類で確認できる。</p> <p>材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>コンクリート二次製品納品時外観等確認記録簿が整理されている。</p> <p>取水口，落水口が取排水に支障の無いよう設置されている。（位置，高さ等）</p> <p>用水路・排水路の布設が設計どおりである。（勾配，高さ，既設接続等）</p> <p>構造物の施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p>重要構造物（ボックスカルバート，橋台等）支持地盤の確認できる資料がある。</p> <p>構造物周りの入念な埋め戻し状況が確認できる。</p> <p>構造物の接合が適切で入念な仕上げが確認できる。</p> <p>構造物に有害なクラックが無い。</p> <p>その他（理由： _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，監督員が文書で指示した修正等による</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため，検査員が修補指示した修正等による</p>																													
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞</p> <p>[関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験]</p> <p>※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち，対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (20)</p> <p>④ なお，削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																		

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び	ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>田面，畦畔の仕上げが良好である。</p> <p>湧水に対しての対策が適切になされている。</p> <p>構造物の通りが良い。</p> <p>田面高が均一である。</p> <p>構造物からの漏水がほとんど無い。</p> <p>既設構造物とのすりつけが良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当6項目以上・・・a</p> <p>該当5項目・・・b</p> <p>該当4項目・・・c</p> <p>該当3項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	ため池整備工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【共通】</p> <p>材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。</p> <p>雨水、湧水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p>仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>その他（理由：)</p> <p>【築堤工関係】</p> <p>施工条件に適した締固め等を適切に行っている。</p> <p>構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</p> <p>築堤に伴う管理試験を適切に行い記録が整理されている。</p> <p>法面保護等の材料のかみ合せ又裏込材が適切である。</p> <p>法面に有害な亀裂が無い。</p> <p>その他（理由：)</p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

【取水施設工・洪水吐工関係】

基礎地盤の処理を適切に行っている。

構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。

コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。

鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

スペーサーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。

コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。

ゲート等の機能が設計図書との適切性が確認でき、証明書が整備されている。

推進工の方向、角度が適性で施工上の注意事項(仕様書)が守られている。

その他(理由:)

【ボーリング・グラウト工関係】

ボーリング工の施工上の注意事項(仕様書)が守られている。

グラウト工の施工上の注意事項(仕様書)が守られている。

ボーリング・グラウト工の記録等が仕様書に定められている事項が確認できる。

その他(理由:)

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>
 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]
 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(0)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	ため池整備工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>【共通】</p> <p>仕上げが良い。</p> <p>天端仕上げ，端部仕上げ等が良い。</p> <p>止水に対する適切な対応がなされ変状が無い。</p> <p>きめ細かな施工がなされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>【築堤工関係】</p> <p>既設構造物等へのすりつけが適切に行われている。</p> <p>法面保護の材料のかみ合わせが良い，また植生等の状態が均一である。</p> <p>土取場の整理，残土等は適切に処理されている。</p> <p>【取水施設工・洪水吐工関係】</p> <p>コンクリート構造物の表面状態が良い。</p> <p>コンクリート構造物の通りが良い。</p> <p>構造物等にきめ細かな施工がなされている。</p> <p>施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p>操作設備の総合的な機能，運転性能が優れている。</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が80%以上・・・・・・・・a</p> <p>評価値が60%以上80%未満・・・b</p> <p>評価値が40%以上60%未満・・・c</p> <p>評価値が40%未満・・・・・・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	農地海岸工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【共通】</p> <p>台風等の異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。</p> <p>工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。</p> <p>濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p>既設構造物に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p> <p>【基礎捨石・被覆石】</p> <p>施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p>捨石、被覆石等材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。</p> <p>捨石、被覆及び根固め石が緩みの無いよう堅固に施工され、記録により確認できる。</p> <p>航行船舶及び一般船に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p> <p>【被覆ブロック】</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。</p> <p>コンクリート打設までに錆・どろ・油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。</p> <p>製作ヤード及び仮置場は平滑に仕上げられている。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>（一般消波）ブロック相互の噛み合せが良く、（異型消波・根固め消波）接合部の段差が無い等、安定した状態で施工され、記録により確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	

考査項目別運用表

(検査員用)

【護岸工】

- 運搬、打設、締め固めが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 基礎工において、過掘が無く施工していることが確認できる。
- 有害なクラックが無い。
- コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。
- 鉄筋の品質を、適切に管理していることが確認できる。
- 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。
- 裏込材及び胴込めコンクリートの締め固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。
- その他（理由： _____）

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞
 [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験]
 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
	a	a'	b	b	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	
60%以上75%未満	b	b'	c	c	
60%未満	b'	c	c	c	

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (32)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	農地海岸工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>コンクリート構造物の表面状態が良い。</p> <p>コンクリート構造物の通りが良い。</p> <p>天端仕上げ，端部仕上げ等が良い。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>既設構造物とのすりつげが良い。</p> <p>石等のかみ合わせが良く，緩みが無い。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当7項目以上・・・a</p> <p>該当6項目・・・b</p> <p>該当5項目・・・c</p> <p>該当4項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	基礎捨石, 被覆石, 被覆ブロック工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【共 通】</p> <p>濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p>既設構造物に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>航行船舶に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。</p> <p>気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。</p> <p>設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</p> <p>作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。</p> <p>その他（理由：)</p> <p>【ブロック据付関係】</p> <p>ブロックの転置、仮置に際して、強度確認を行っている。</p> <p>ブロックの仮置作業において、転倒、崩壊等の恐れが無い。</p> <p>ブロックの据付に先立ち、気象・海象等を十分に調査し、据付作業が所定の精度で行われている。</p> <p>ブロック相互の噛み合せ良く、接合部の段差が無い等安定な状態で施工され、これが記録により確認できる。</p> <p>ブロック相互間に間詰石、転落石のはまり込みやかみ合わせ石の挿入が無く施工され、これが記録により確認できる。</p> <p>ブロック据付等において、ブロック及び既設構造物に損傷が無く、適切に施工されている。</p> <p>その他（理由：)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

		<p>【コンクリート関係】</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度, スランプ, 空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が, 当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>施工条件や気象条件に適した運搬時間, 打設の投入高さ及び締固め方法が, 定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し, 必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの打設前に, 打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>鉄筋(PC鋼材含む)の品質が, 証明書類で確認できる。</p> <p>鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>コンクリート打設までに錆・どろ・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>鉄筋の組立及び加工が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>圧接作業にあたり, 作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>スペーサーを適切に配置し, 鉄筋の被りを確保している。</p> <p>コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>プレビーム桁のプレフレクッション管理が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。</p> <p>PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>プレストレスング時のコンクリート圧縮強度が, 設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>その他(理由:)</p>																																	
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																	
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち, 対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(34) ④ なお, 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>		
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																														
		50%以下	80%以下	80%を超える																															
評価値	90%以上	a	a'	b	b																														
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																														
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																														
	60%未満	b'	c	c	c																														
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																	

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	基礎捨石, 被覆石, 被覆ブロック工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>コンクリート構造物の表面状態が良い。</p> <p>コンクリート構造物の通りが良い。</p> <p>天端仕上げ, 端部仕上げ等が良い。</p> <p>クラックがない。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【共通】</p> <p>濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p>既設構造物に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>航行船舶に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。</p> <p>気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。</p> <p>設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</p> <p>作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p> <p>【浚渫・床掘関係】</p> <p>土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。</p> <p>潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されている。</p> <p>土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。</p> <p>土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっている。</p> <p>土捨場に制約が無く、深掘しても周辺構造物に影響が無い場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっている。</p> <p>土質に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。（大型船による施工で、作業日数短縮等も含む）</p> <p>浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出が無いように施工していることが確認できる。</p> <p>浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。</p> <p>土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。</p> <p>置換材の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）で確認できる。</p> <p>砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。</p> <p>その他（理由： _____）</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、かし担保による修補又は損害賠償請求を行い改善された。</p>	

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

		<p>【地盤改良関係】</p> <p>改良材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の仕様を満足している。</p> <p>浮泥を巻き込まないように置換材を投入していることが確認できる。</p> <p>サンドドレーン、砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。</p> <p>ペーパードレーンが計画深度まで破損無く正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。</p> <p>深層混合処理の打込記録等から、設計図書に定められている事項が確認できる。</p> <p>前記以外の改良工法について、記録から設計図書に定められている事項が確認できる。</p> <p>盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。</p> <p>その他（理由：)</p> <p>【マット、捨石及び均し関係】</p> <p>捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。</p> <p>マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。</p> <p>捨石、被覆及び根固め石が緩みの無いよう堅固に施工され、記録により確認できる。</p> <p>裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損が無く施工され、記録により確認できる。</p> <p>捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されていることが確認できる。</p> <p>施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。</p> <p>マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。</p> <p>捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。</p> <p>その他（理由：)</p>		
--	--	---	--	--

考査項目別運用表

(検査員用)

		<p>【本体：杭及び矢板，控工関係】</p> <p>鋼材の規格・数量がミルシート等（現物照合を含む）で確認できる。</p> <p>鋼材の保管にあたり，変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう，適切に処置されていることが確認できる。</p> <p>杭及び矢板に損傷及び補修痕が無く施工されていることが確認できる。</p> <p>杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され，かつ記録が確認できる。</p> <p>腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け，ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。</p> <p>タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。</p> <p>溶接及び切断の品質管理に関して設計図書の仕様を満足している。</p> <p>その他（理由：)</p> <p>【本体：ケーソン据付，ブロック据付関係】</p> <p>ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し，仮置作業が所定の位置に異常無く行われていることが確認できる。</p> <p>ケーソン据付に先立ち，気象・海象等を十分調査し，据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。</p> <p>ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損が無く施工されていることが確認できる。</p> <p>コンクリートブロック据付に先立ち，気象・海象等を十分調査し，据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。</p> <p>ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損が無く施工されていることが確認できる。</p> <p>ケーソンえい航に先立ち，気象・海象等を十分調査し，適切な時期を選定されていることが確認できる。</p> <p>ケーソンえい航に先立ち，上蓋，安全ネット又は吊り足場等を設置し，墜落防止の措置を講じていることが確認できる。</p> <p>ケーソン注水時の隔室の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。</p> <p>ケーソン仮置き，据付の時期について，設計図書を満足するよう実施されていることが確認できる。</p> <p>中詰において海上漏出が無いように施工されていることが確認できる。</p> <p>その他（理由：)</p>		
--	--	---	--	--

考査項目別運用表

(検査員用)

【コンクリート関係】

コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。

コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。

圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。

施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)

コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。

コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。

鉄筋(PC鋼材含む)の品質が、証明書類で確認できる。

コンクリート打設までに錆・どろ・油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。

鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。

スペーサーを適切に配置し、鉄筋の被りを確保している。

コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

プレビーム桁のプレフレクッション管理が、設計図書の使用を満足していることが確認できる。

使用する装置及び機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。

PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理が、設計図書の使用を満足していることが確認できる。

プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の使用を満足していることが確認できる。

有害なクラックが無い。

その他(理由:)

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>
 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]
 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(74)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d										
3. 出来形及び 出来ばえ	港湾築造工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている										
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>構造物等の通りが良い。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p>構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。</p> <p>構造物等のきめ細やかな施工がなされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>クラックがない。(コンクリート工事が含まれる場合)</p> <p>●判断基準</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">(コンクリート工事が含まれる場合)</td> <td style="width: 50%; border: none;">(コンクリート工事が含まれる場合)</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">該当4項目以上・・・a</td> <td style="border: none;">該当5項目以上・・・a</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">該当3項目・・・b</td> <td style="border: none;">該当4項目・・・b</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">該当2項目・・・c</td> <td style="border: none;">該当3項目・・・c</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">該当1項目以下・・・d</td> <td style="border: none;">該当2項目以下・・・d</td> </tr> </table>				(コンクリート工事が含まれる場合)	(コンクリート工事が含まれる場合)	該当4項目以上・・・a	該当5項目以上・・・a	該当3項目・・・b	該当4項目・・・b	該当2項目・・・c	該当3項目・・・c	該当1項目以下・・・d	該当2項目以下・・・d
(コンクリート工事が含まれる場合)	(コンクリート工事が含まれる場合)														
該当4項目以上・・・a	該当5項目以上・・・a														
該当3項目・・・b	該当4項目・・・b														
該当2項目・・・c	該当3項目・・・c														
該当1項目以下・・・d	該当2項目以下・・・d														

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	港湾築造工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【共通】</p> <p>濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p>既設構造物に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>航行船舶に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p>材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。</p> <p>気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。</p> <p>設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</p> <p>作業船が十分管理下におかれ、統率されていることが確認できる。</p> <p>その他（理由：)</p> <p>【浚渫・床掘関係】</p> <p>土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。</p> <p>潮位及び潮流、波浪等の状況を十分把握して施工されている。</p> <p>土質改良を適切に行っていることが記録で確認できる。</p> <p>土捨場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっている。</p> <p>土捨場に制約が無く、深掘しても周辺構造物に影響が無い場合、今後の埋没も考慮し、深く平坦に仕上がっている。</p> <p>土質に対して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。（大型船による施工で、作業日数短縮等も含む）</p> <p>浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、漏出が無いように施工していることが確認できる。</p> <p>浚渫工又は床掘工において、作業現場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効率的作業が可能な作業船を選定していることが確認できる。</p> <p>土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。</p> <p>置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。</p> <p>砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。</p> <p>その他（理由：)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	

考査項目別運用表

(検査員用)

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞
 [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験]
 ※ばらつきの判断は別紙-4 参照。

●判断基準

評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
評価	90%以上	a	a'	b	b
値	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち，対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (20)
- ④ なお，削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	港湾築造工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p>施工後の表面及び底面等の全体的な仕上がりが良い。</p> <p>浚渫及び盛り上り土等の土砂が適切に処理されている。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当3項目以上・・・a</p> <p>該当2項目・・・b</p> <p>該当1項目・・・c</p> <p>該当項目なし・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	浚渫工事 (河川等)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p>浚渫工の施工上の注意事項 (仕様書等による) が守られていることが確認できる。</p> <p>浚渫土砂が適切に処理されていることが確認できる。</p> <p>構造物周辺において施工する場合、構造物に影響を与えていないことが確認できる。</p> <p>浚渫前、浚渫後の河床高の管理が適切にされ、管理図が整理されていることが確認できる。(土量等計測による確認ができる。)</p> <p>漁協、関係機関等への協議が適切に行われたことが記録により確認できる。</p> <p>その他 (理由: _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・ a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・ b'</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・ c</p>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (7)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>	

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	浚渫工事（河川等）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>きめ細かな施工がなされている。</p> <p>施工管理記録等から施工の状態が良いことが確認できる。</p> <p>規定された勾配で施工されている。</p> <p>浚渫の変化部に緩衝帯等を設け適切に施工されている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	投入管理 (港湾)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>施工区域標識等を表示して施工していることが確認できる。</p> <p>トータルステーション, レベル, 音響測深器等の検定が行われていることが確認できる。</p> <p>音響測深機等のパーチェック等が行なわれていることが確認できる。</p> <p>検潮表示板等が適正に設置管理されていることが確認できる。</p> <p>測深作業の管理がチェックリスト等を用いて実施されていることが確認できる。</p> <p>投入可能量・実投入量が多面的・合理的に管理されており, 資料も整備されている。</p> <p>個々の土砂の受入管理が提出資料の管理及び受入に係る外観検査共に適正に行われており, そのことがチェックシート等の管理資料で確認できる。</p> <p>投入区域の選定が, 埋立工事全般において合理的なものとなっており, そのことが資料により確認できる。</p> <p>個々の投入指示が適切に行なわれており, 投入指示の記録が整備されている。</p> <p>濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p>護岸の安定等に係る動態観測が適正に行われており, その記録から周辺構造物への悪影響が無いことが確認できる。</p> <p>その他 (理由 : _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため, 検査員が修補指示を行った。</p>	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上・・・・・・ a</p> <p>評価値が80%以上90%未満・・・・ a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満・・・・ b</p> <p>評価値が60%以上70%未満・・・・ b'</p> <p>評価値が60%未満・・・・・・ c</p>					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち, 対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (12)</p> <p>④ なお, 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>	

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	投入管理 (港湾)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>通りが良い。</p> <p>仕上げが良い。</p> <p>端部処理が良い。</p> <p>構造物へのすりつけ等が良い。</p> <p>施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	浮函及び連絡橋製作・設置工事 (係船杭工事は基礎工事に準じる)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている	
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【制作関係】</p> <p>材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p>材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。(鉄筋、鋼材ほか)</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に、温度、スランプ、空気量等必要な試験を実施しており、測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>運搬時間、運搬方法、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>鉄筋(鋼材等)の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>スペーサーの寸法、品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>スペーサーを適切に配置し、鉄筋の被りを確保している。</p> <p>コンクリートのPコン及び打継ぎ目について外面防水工を施工していることが確認できる。</p> <p>装置(機器)のキャリブレーションが実施されている。(緊張及び高力ボルト締付工に関するもの)</p> <p>緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。</p> <p>プレストレッシング時のコンクリート強度が適切であることが確認できる。</p> <p>主要部材の自由縁が規定どおり面取りされている。</p> <p>ボルトの締付け確認が実施され、適切に記録が保管されている。</p> <p>溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。</p> <p>塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合を含む。)</p> <p>ケレンが入念に実施されていることが確認できる。</p> <p>塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>気密試験が行われており、適切に施工されていることが確認できる。</p> <p>その他(理由:</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>		<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>	

考査項目別運用表

(検査員用)

【設置関係】

浮函の乾舷が設計どおり適切に施工されている。
 浮函・連絡橋の設置位置に対して適切な管理を行っている。
 浮函・連絡橋の管理において、大潮の満潮時及び干潮時に、2潮以上、間隔をあけ測定している。
 係船杭のローラーが浮函との適切な遊間を有してボルトで適切に締付けされている。
 現場溶接が適切に行われていることが確認できる。
 現場塗装が適切に行われていることが確認できる。
 敷鉄板の下に空洞が無く密着して設置されている。
 有害なクラックが無い。
 その他（理由： _____)

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞
 [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験]
 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
	a	a'	b	b	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(31)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	浮筒及び連絡橋製作・設置工事 (係船杭工事は基礎工事に準じる)	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目</p> <p>仕上り状態が良く、全体的な美観に優れている。</p> <p>公共構造物としての安全性、環境及び維持管理への配慮が良い。</p> <p>表面に補修痕跡等が無い。</p> <p>製作・設置の細部に渡る配慮が良い。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上・・・a</p> <p>該当4項目・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	防食工事 (港湾)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>【電気防食工関係】</p> <p>品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が十分実施され、内容が確認できる。</p> <p>材料の品質照合がミルシート等（現物照合を含む。）で確認でき、満足している。</p> <p>部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。</p> <p>機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。</p> <p>ケレンが入念に施工されていることが記録により確認できる。</p> <p>溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥が無く満足している。</p> <p>塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥が無く満足している。</p> <p>製品の機能、性能管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥が無く満足している。</p> <p>操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認できる。</p> <p>設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき満足している。</p> <p>その他（理由：)</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>		
		<p>【FRPモルタルライニング、ペトロラタムライニング、コンクリート被覆関係】</p> <p>共通仕様書に記載されていない項目について、管理基準等が施工計画書に明記されている。</p> <p>材料の品質規格証明書が整備されている。</p> <p>工程ごとの施工管理がチェックリスト等を用いて実施されていることが確認できる。</p> <p>ケレンが入念に施工されていることが記録により確認できる。</p> <p>ケレン後、速やかに被覆防食の施工が行われていることが記録により確認できる。</p> <p>モルタル注入、コンクリート打設は、型枠取付後速やかに行われ、型枠内に完全に充填されたことが確認できる。</p> <p>ペトロラタムペーストの塗布及びテープの巻き付けが適正に行われていることが確認できる。</p> <p>保護カバーの設置が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>材料の入荷管理、使用量管理及び入荷材料の養生が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>その他（理由：)</p>						

考査項目別運用表

(検査員用)

【防食塗装関係】

材料の品質規格証明書が整備されている。
 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合を含む。)
 ケレンが入念に実施されていることが確認できる。
 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。
 施工時の天候、気温、及び湿度等の条件が整理記録されている。
 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料が沈殿していないことが確認できる。
 塗膜に有害な付着物が無い。
 塗り残し、ムラ、気泡、たれ、はけ目等の欠陥が無い。
 その他(理由:)

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>
 [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験]
 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
		50%以下	80%以下	80%を超える	
	a	a'	b	b	
	a'	b	b'	b'	
	b	b'	c	c	
	b'	c	c	c	

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(30)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び出来ばえ	防食工事 (港湾)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>【共通】</p> <p>構造物等の細部まできめ細かな施工がなされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>【電気防食工関係】</p> <p>公共物としての安全性、環境、環境及び維持管理への配慮が良い。</p> <p>既設構造物とのすりつけが良い。</p> <p>製作上の補修痕跡が無い。</p> <p>【FRPモルタルライニング、ペトロラタムライニング、コンクリート被覆関係】</p> <p>表面に補修箇所、傷、錆が無い。</p> <p>端部や取付部の処理が良い。</p> <p>ケレンの施工状況が良好である。</p> <p>【防食塗装】</p> <p>塗装の均一性が良い。</p> <p>補修箇所が無い。</p> <p>ケレンの施工状況が良好である。</p>			
		<p>●判断基準 (評価項目が9項目以上)</p> <p>評価値が85%以上 a</p> <p>評価値が70%以上85%未満 b</p> <p>評価値が45%以上70%未満 c</p> <p>評価値が45%未満 d</p>	<p>●判断基準 (評価項目が6, 7, 8項目)</p> <p>評価値が80%以上 a</p> <p>評価値が65%以上80%未満 b</p> <p>評価値が45%以上65%未満 c</p> <p>評価値が45%未満 d</p>	<p>●判断基準 (評価項目が5項目以下)</p> <p>評価値が75%以上 a</p> <p>評価値が55%以上75%未満 b</p> <p>評価値が30%以上55%未満 c</p> <p>評価値が30%未満 d</p>	

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	防潮扉	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																												
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が十分実施され、内容が確認できる。</p> <p>材料の品質照合がミルシート等（現物照合を含む）で確認でき、満足している。</p> <p>部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。</p> <p>機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき、満足している。</p> <p>溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥が無く満足している。</p> <p>塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥が無く満足している。</p> <p>製品の機能、性能管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥が無く満足している。</p> <p>操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認できる。</p> <p>設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき満足している。</p> <p>主要部材の自由縁が規定どおり面取りされている。</p> <p>その他（理由： _____)</p>				<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																														
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>				評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b'		75%以上90%未満	a'	b	b'		60%以上75%未満	b	b'	c		60%未満	b'	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (11) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
	a	a'	b	b'																																
	75%以上90%未満	a'	b	b'																																
	60%以上75%未満	b	b'	c																																
	60%未満	b'	c	c																																
注		試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。																																		

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	防潮扉	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>構造物の表面状態が良い。</p> <p>構造物の通りが良い。</p> <p>主設備、関連設備、操作・制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が優れている。</p> <p>異常な振動、騒音が無く、動きもスムーズで、総合的な機能、運転性能が優れている。</p> <p>公共物としての安全性、環境、環境及び維持管理への配慮が良い。</p> <p>溶接、塗装、組立等の細部に渡る配慮が良い。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が80%以上・・・・・・・・a</p> <p>評価値が65%以上80%未満・・・b</p> <p>評価値が45%以上65%未満・・・c</p> <p>評価値が45%未満・・・・・・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II 品質	魚礁工 (コンクリート一体打魚礁)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																													
		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、ており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>鉄筋の品質を、適切に管理していることが確認できる。</p> <p>コンクリート打設までに錆・どろ・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>据付の施工上の注意事項が守られている。(仕様書等による)</p> <p>その他(理由: _____)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																														
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつき判断は別紙-4参照。</p>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評 価 値</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評 価 値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(15) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評 価 値		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	魚礁工 (コンクリート一体打魚礁)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>構造物の表面状態が良い。</p> <p>クラックがない</p> <p>出来形管理資料等から出来栄えの良さが伺える。</p> <p>きめ細やかな施工がなされている</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ	魚礁工 (コンクリート組立魚礁)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																												
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値= 0.0%</p> <p>コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径, 塩化物総量, 単位水量, アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。</p> <p>コンクリート打設までに錆・どろ・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>コンクリートの養生が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>有害なクラックが無い。</p> <p>据付の施工上の注意事項が守られている。(仕様書等による)</p> <p>その他(理由:)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																													
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																		
		<p>●判断基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(14) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																		

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	魚礁工 (コンクリート組立魚礁)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>二次製品等材料に細心の注意が払われている。</p> <p>製品の表面にヘアークラック，傷等がない。</p> <p>出来形管理資料等から出来栄えの良さが伺える。</p> <p>きめ細やかな施工がなされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3. 出来形及び出来ばえ II 品質	魚礁工 (鋼製組立魚礁)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																													
		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</p> <p>材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。</p> <p>鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。</p> <p>魚礁に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。</p> <p>据付の施工上の注意事項が守られている。(仕様書等による)</p> <p>溶接及び切断の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。</p> <p>その他(理由:)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>																														
		<p>品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p>																																			
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評 価 値</th> <th rowspan="2">90%以上</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td></td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td></td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評 価 値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える		a	a'	b	b'		a'	b	b'	c		b	b'	c	c		b'	c	c	c	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(8) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>	
評 価 値	90%以上	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
		50%以下	80%以下	80%を超える																																	
	a	a'	b	b'																																	
	a'	b	b'	c																																	
	b	b'	c	c																																	
	b'	c	c	c																																	
		<p>注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。</p>																																			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	魚礁工 (鋼製組立魚礁)	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
III 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>溶接，組立等にあって，細部において配慮がされ，キズ等が無い。</p> <p>溶接に均一性がある。</p> <p>出来形管理資料等から出来栄の良さが伺える。</p> <p>きめ細やかな施工がなされている。</p> <p>全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e																														
3. 出来形及び出来ばえ	魚礁工（投石）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																														
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</p> <p>材料が設計図書の仕様を満足しており、品質が証明書類で確認できる。</p> <p>投石帯が一樣な形状に施工され、これが記録により確認できる。</p> <p>投石帯設置の施工上の注意事項が守られている。（仕様書等による）</p> <p>その他（理由： _____）</p>					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																														
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ [関連基準，土木工事施工管理基準，その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。																																				
		<p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (5) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
		50%以下	80%以下	80%を超える																																		
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。																																				

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	魚礁工（投石）	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>構造物の通りが良い。</p> <p>施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。</p> <p>材料の分布が均一に投入されている。</p> <p>規定された水深・勾配等が確保されている。</p>			
Ⅲ 出来ばえ		<p>●判断基準</p> <p>該当3項目以上・・・a</p> <p>該当2項目・・・・・・b</p> <p>該当1項目・・・・・・c</p> <p>該当項目なし・・・・d</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	その他の工事又は合併工事 <A>対象工事がばらつきによる評価 が不適切な工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>その他(理由:)</p> <p>その他(理由:)</p> <p>その他(理由:)</p> <p>その他(理由:)</p> <p>その他(理由:)</p> <p>その他(理由:)</p> <p>その他(理由:)</p> <p>その他(理由:)</p> <p>その他(理由:)</p>					<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p><input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。</p>
		<p>●判断基準</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><A>対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事</p> <p>※評価値が90%以上.....a</p> <p>※評価値が80%以上90%未満...a'</p> <p>※評価値が70%以上80%未満...b</p> <p>※評価値が60%以上70%未満...b'</p> <p>※評価値が60%未満.....c</p> </div> <p>なお、削除後の評価対象項目が2項目以下の場合はc評価とする</p>						

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	その他の工事又は合併工事 <A>対象工事がばらつきによる評価 が不適切な工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>その他（理由： _____)</p> <p>その他（理由： _____)</p> <p>その他（理由： _____)</p> <p>その他（理由： _____)</p> <p>その他（理由： _____)</p> <p>※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が75%以上・・・・・・ a</p> <p>評価値が50%以上75%未満・・・・ b</p> <p>評価値が25%以上50%未満・・・・ c</p> <p>評価値が25%未満・・・・・・ d</p> <p>なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>			

考査項目別運用表

(検査員用)

考査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																								
3. 出来形及び 出来ばえ	その他の工事又は合併工事 対象工事がばらつきによる評価 が適切な工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 劣っている																								
II 品質		<p>●評価対象項目 評価値 = 0.0%</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p>						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																							
		<p>●判断基準 対象工事がばらつきによる評価が適切な工事</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>② 評価値 (0.0%) = 該当項目数 (0) / 評価対象項目数 (8)</p> <p>③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div> <table border="1" style="float: right; margin-left: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価値</th> <th>90%以上</th> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <th>75%以上90%未満</th> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <th>60%以上75%未満</th> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> </tr> <tr> <th>60%未満</th> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								ばらつきで判断可能			50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	60%未満	b'	c	c
		ばらつきで判断可能																														
		50%以下	80%以下	80%を超える																												
評価値	90%以上	a	a'	b																												
	75%以上90%未満	a'	b	b'																												
	60%以上75%未満	b	b'	c																												
	60%未満	b'	c	c																												

考 査 項 目 別 運 用 表

(検査員用)

考查項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び 出来ばえ	その他の工事又は合併工事 対象工事がばらつきによる評価 が適切な工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 劣っている
Ⅲ 出来ばえ		<p>●評価対象項目 評価値=0.0%</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p> <p>その他（理由：)</p> <p>※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が75%以上・・・・・・ a</p> <p>評価値が50%以上75%未満・・・・ b</p> <p>評価値が25%以上50%未満・・・・ c</p> <p>評価値が25%未満・・・・・・ d</p> <p>なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>			

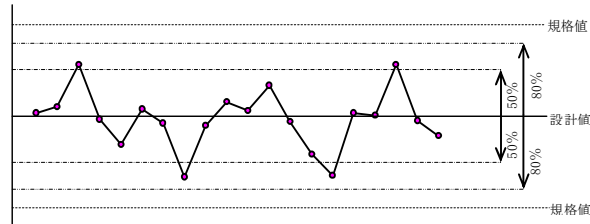
別紙－4

1 出来形及び品質のばらつきの考え方

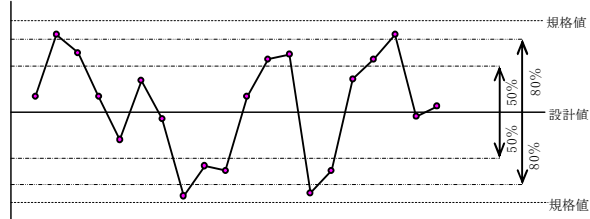
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

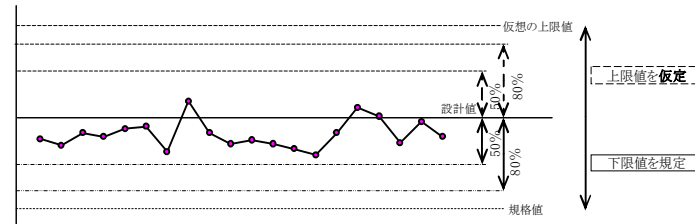
①ばらつきが50%以下と判断できる例



②ばらつきが80%以下と判断できる例

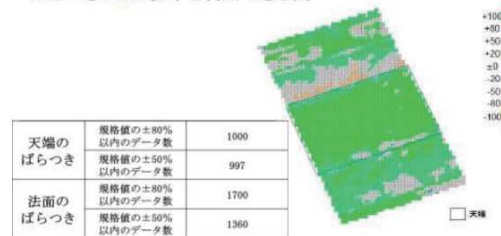


(下限値のみの場合)



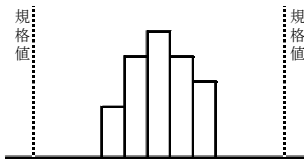
③ICT活用工事の例

出来形合否判定総括表の分布図や計測点の個数によりばらつきを判断
ばらつきが50%以下と判断できる例

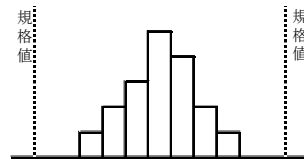


[度数表またはヒストグラムの場合]

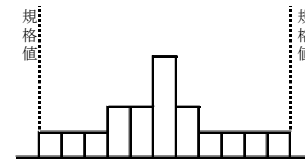
ばらつきが小さい



ばらついている



ばらつきが大きい



2 多工種複合工事の取り扱い

- (1) 主たる工種で評価する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
- (3) 評定は「合併工事」欄等を活用する。